

シニア海外ボランティア 平成20年度秋 分野別要請集

平成20年10月

No. 2

農林水産

独立行政法人国際協力機構

青年海外協力隊事務局

J/333.9
SE
20-2

15274



平成20年度SV春募集 分野別要請一覧
3. 農林水産

要請番号	指導科目	国名	頁
農林水産 (55件)			
SL04508D02	穀物育種	モンゴル	1
SL23908D11	ラン栽培	ホンジュラス	2
SL30308D30	花き栽培	アルゼンチン	3
SL04808D05	有機栽培	ブータン	4
SL21508D16	養液栽培	コスタリカ	5
SL54508D03	農業技術・管理運営指導	ウガンダ	6
SL21508D14	アグロフォレストリー	コスタリカ	7
SL30308D15	熱帯果樹栽培	アルゼンチン	8
SL04508D01	組織培養	モンゴル	9
SL04808D06	総合的病虫害管理	ブータン	10
SL25108D06	病虫害防除	パナマ	11
SL31508D01	植物病理	コロンビア	12
SL32408D06	病害防除	パラグアイ	13
SL03308D04	土壌改良	中華人民共和国	14
SL32408D05	土壌分析	パラグアイ	15
SL01808D04	生活改善指導	タイ	16
SL31208D03	地域経済開発	チリ	17
SL33308D04	栄養改善・生活の質向上	ウルグアイ	18
SL33308D10	野菜栽培	ウルグアイ	19
SL04808D03	統計解析	ブータン	20
SL00908D09	熱帯施設園芸	マレーシア	21
SL10608D06	農業指導	フィジー	22
SL24808D01	農業指導	ニカラグア	23
SL30308D03	ランのバイオテクノロジー	アルゼンチン	24
SL30308D31	植物病害の生物的防除	アルゼンチン	25
SL00608D04	養蚕	インドネシア	26
SL30308D18	農地保全管理	アルゼンチン	27
SL30308D20	灌漑装置による水利用	アルゼンチン	28
SL00608D03	農業機械	インドネシア	29
SL04808D01	農業機械	ブータン	30
SL32408D03	農業機械	パラグアイ	31
SL00608D05	養蜂	インドネシア	32
SL03308D05	乳牛飼育	中華人民共和国	33
SL25108D07	牛肉質改良	パナマ	34
SL46908D08	営農管理	モロッコ	35
SL02408D26	家畜疾病ウイルス	ラオス	36
SL04508D03	家畜非感染症	モンゴル	37
SL04808D04	組織培養	ブータン	38
SL44208D10	生化学	シリア	39
SL44208D15	残留分析	シリア	40
SL25108D08	森林資源活用	パナマ	41
SL23908D12	植林	ホンジュラス	42
SL13608D12	漁協組合運営指導	バヌアツ	43
SL25108D01	水産海洋学	パナマ	44
SL30308D06	水域資源環境評価	アルゼンチン	45
SL01808D21	水産教育アドバイザー	タイ	46
SL10608D04	養殖	フィジー	47
SL13008D11	沿岸資源増養殖	トンガ	48
SL30308D16	海水魚養殖(貝類)	アルゼンチン	49
SL30308D19	冷海水養殖	アルゼンチン	50

SL32408D04	淡水魚養殖	パラグアイ	51
SL33308D08	養殖産業開発	ウルグアイ	52
SL10608D03	水産物加工	フィジー	53
SL21508D15	水産物加工	コスタリカ	54
SL30308D23	ワカメの商品開発	アルゼンチン	55



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 6 月 30 日

要請番号(SL 045 - 08- D - 02)

調査者名: 多賀谷 健司

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
モンゴル	職種 食用作物・稲作栽培 (コード 1001)	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目 穀物育種			1	21 / 1	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Food Crops & Rice Culture			2	21 / 2	
指導科目(英) Cereal Breeding	3	/				

プログラム番号・名 0450000000006 プロジェクト名
 牧地と農牧業再生プログラム

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) 食料農牧省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Food and Agriculture

2) 配属先名 (日本語) 植物科学農業研究所
 (英語) Plant Science and Agricultural Research Training Institute(PSARTI)

3) 任地 ダルハン
 首都(ウランバートル)から 北 方向 240 Km
 主要都市(ウランバートル)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 モンゴルの農業発展のための政策の中で、研究、教育と生産活動を合理的に組み合わせることで、国の農作物セクターの持続的発展のために、農作物科学の研究、農業、自然環境保護、土地管理分野での研修を行う。また、主要な農作物の優良栽培種子を生産し、農家に供給する。研究部門は7、教育部門は6学部、6研究所を持ち、1400人の学生と50人の教職員からなる。予算は約26万米ドル。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 小麦はモンゴルの耕作地の約90%で栽培されている主要な食用作物で、良質で収穫力が高い新しい品種は農業生産を増大させる役割を果たしてきた。過去5年間、農業部門は気候変動ととりわけ早魃のためかなりの被害を蒙り、収穫の激減により穀物生産セクターの経済力を弱めている。早魃に強い、生産性の高い多様な小麦の品種を開発し、小麦穀物生産を維持することが不可欠となっている。そこで、従来の育種技術ではなく、新しい育種技術を適用し、早魃耐性がある多収品種育成のため、交配効率の改良、世代促進を達成するため経験を積んだボランティアが要請された。

2) 期待される具体的業務内容
 ボランティアは穀物育種プログラムに参加し、最新の育種手法を用い、育種活動の改善に注力し、世代促進と交配効率を高め、他の収穫試験の改良を実現する。優先的研究領域は:
 ・望ましい遺伝的多様性の増進と早魃耐性のある系統の選択と育成
 ・育種のためのMolecular Marker 技術の導入と使用
 ・育種初期段階での優性系統の試験、検証の為に新しい方法論の開発
 ・種間交配の適用
 ・植物生理ラボの設置、組織化についてのアドバイス

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 Seed dril, Combain harvester, Seed cleanary machine, Gravity separator, Thresher, Electric balance等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 同僚: 研究者 7人 年齢20代~40代
 指導対象: 研究者、学生、農業従事者

5) 業務使用言語
 ○ 英語 ()
 ● モンゴル語 ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: A)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 研究活動に必要
 学歴 大卒 業務関連分野
 経験理由: 研究活動に必要
 経験 実務経験 5年以上
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

概地況

気候(大陸性気候) 気温(+30~ -30℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 20 年 7 月 30 日

要請番号(SL 239 - 08 - D - 11)

調査者名: 岡部 朋洋

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ホンジュ ラス	職種 花き栽培 指導科目 ラン栽培 (コード 1002)	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Flower Growing 指導科目(英) Orchid growing			1 21 / 1	2 21 / 2

プログラム番号・名 2390000000006 プロジェクト名
 中小・零細産業支援プログラム

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) 農林省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Livestock

2) 配属先名 (日本語) ランセティージャ植物公園
 (英語) Lancetilla Botanical Garden

3) 任地 アトランティーダ県テラ市
 首都(テグシガルバ市)から 北東 方向 300 Km
 主要都市(サンペドロスーラ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 同植物公園は熱帯植物園としては世界第2位の広さを持ち、園内動植物の保全、調査、研究だけでなく、一般市民への環境教育や市民の憩いの場として利用されている。国内唯一の森林経営・植林・環境科学に関する専門大学校(ESNACIFOR)の付属植物園である。テラ市の水源の一つであり、USAIDが水源保全関連の援助をしているほか、カナダ政府の援助でビジターセンターが建設されている。年間予算は、225千米ドル。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同植物公園内には多くの種類のランが自生している。小規模なランの鑑賞スペースも存在するが、技術的な問題もあり一般公開するレベルには達していない。前任者は、ホンデュラスの国花であるラン(リンコラエリアーディグピアーナ種)の一般展示・普及を目指し、組織培養の方法を技術移転しながら増殖に取り組んでいる。また、同公園内の貴重な動植物のポスターカードを作成する等、同植物公園の活性化を通して地元テラ市の観光振興へ協力している。

2) 期待される具体的業務内容
 1) ランの増殖方法(組織培養等)について指導する。
 2) ラン栽培に限らず、同植物公園の活性化(観光振興等)に繋がるような協力を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 ガラス実験機材、PH計、圧力鍋、培養棚、クリーンベンチ

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 園長 50歳代 男性
 カウンターパート 2名 20歳代 女性 (林学)

5) 業務使用言語
 ● スペイン語
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: C)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 ・学歴 大卒 学歴理由: 配属先の提示する条件
 ・経験 実務経験 5年以上 経験理由: 配属先の提示する条件
 ・花卉類の組織培養経験 理由: 配属先の提示する条件

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

概地 気候(亜熱帯) 気温(20~35℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 概域 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 1 月 4 日

要請番号(SL 303 - 08 - D - 30)

調査者名: 山本 パトリシア

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 花き栽培 (コード 1002)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 花き栽培			2	21 / 2
	職種(英) Flower Growing 指導科目(英) Cultivation of ornamental flowers			3	/
					年 月 日から

プログラム番号・名 3030000000005 プロジェクト名 切花栽培
 地域経済活性化

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) コリエンテス州生産、労働観光省 (受入機関名)(英語) Ministry of Production, Labour and Tourism, Province of Corrientes
	2) 配属先名 (日本語) コリエンテス州生産技術センター (英語) Center of Production Technologies (CETEPRO)
	3) 任地 コリエンテス州コリエンテス市 首都(コリエンテス市)から 北西 方向 10 Km 主要都市(フェノスアイレス市)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 州内の農業生産者の生産性と生活水準向上を期待し、農産物生産技術の開発、研究及び普及を実施、また土壌分析、病害虫診断及び生産者、技術者及び学生を対象にした研修も実施している。我が国の協力としては、過去に、ミニプロ 1990-1993年(野菜栽培技術)、土壌、野菜栽培、病害虫の個別専門家及び「野菜種子生産」のSVの派遣(2003-2006年)(2007年度予算額65000トル/2273千円)実績がある。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同州は、南緯27度、面積88199Km2、人口900千人、年間雨量1293mm、平均年間気温は15~40℃で、概して農作物生産に適した土壌風土であり、主要産業は林業、稲作、マテ茶栽培、柑橘類栽培、野菜栽培である。しかし、概して収入は低迷している。こうした状況から、同センターでは代替作物の導入に積極的に取り組んでおり、その一つとして、地域の立地条件を活かした花卉栽培計画がある。この花卉栽培に関して、州政府は農村開発及び雇用機会の促進等に貢献するための有望な産業として期待しており、優先度の高い分野であるが、新規分野であるため人材不足は否めず、その育成が急務となっている。		
	2) 期待される具体的業務内容 - コリエンテス州の立地条件に適し、且市場商品価値の高い花卉種の選定。 - 選定した花卉種に関する評価、選抜及び増殖 - 花卉栽培技術指導(切花、プランタ栽培、亜熱帯気候の効果的な活用等について) - 生産技術の移転と評価 - 農家、技術者及び学生を対象にした研修・セミナーへの参加・実施		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農機具、ビニールハウス、灌漑設備、病害、土壌及びバイオテク研究室		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 農学技師(男性3名、45歳-55歳)	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ 英語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) ☑ スペイン語 (レベル: B)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	・学歴 大卒 農学	学歴理由: CPの学歴が大卒以上であるため
	・経験 実務経験 15年以上	経験理由: CPの職歴が15年以上であるため
	・花卉生産増殖技術経験	理由: 業務遂行上必要であるため
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地況	気候(亜熱帯性) 気温(15~40℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 6 月 24 日

要請番号 (SL 048 - 08 - D - 05)

調査者名: 柴崎 栄司

国名	職種 / 指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ブータン	職種 野菜栽培	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 有機栽培			2	21 / 2
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英) Organic farming			3	/

プログラム番号・名 0480000000013 プロジェクト名
農業技術開発・普及プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2) 配属先名 (日本語) イェシバン農業試験場 (英語) Renewable Natural Resource Reserch Centre, Yusipang
	3) 任地 ティンブー県イェシバン 首都(ティンブー)から 東 方向 15 Km 主要都市(ティンブー)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ブータンには農業試験場が4か所設立され、同配属先はそのうちのの一つである。ブータン西部地域の農業技術の開発・普及を担っており、林業分野についてはブータン全土をカバーしている。林業、園芸、家畜、穀物、農業技術普及の部門を持つ。また、有機栽培にも力を入れている。年間予算は約35万ドル。スイスの援助で施設の新築を行ったばかりである。他3つの農業試験場にもJICA専門家やボランティアを派遣中・予定である。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ブータンでは、農業が農村部まで流通しているとは言い難く、宗教上においても虫の駆除を好まないため、農家は病虫害の被害に悩まされながらの生産を強いられている。また、堆肥も量が豊富にあるわけでもなく、昔ながらの方法で堆肥を作っている。同配属先では、2004年から農業試験場内での農業の使用を禁止し、本格的に有機栽培の試験を開始した。まずは農業試験場内、有機栽培の技術を確認し、農家へ普及することが期待されている。しかしながら、配属先スタッフの知識や経験には限界があり(混栽や唐辛子パウダーを使った防除などは試している)、様々な手法、アイデアを交換するために、SVの要請に至った。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・農業を使用せず、地元で入手できる有機・無機肥料を利用し、輪作、混栽などを導入した有機栽培の技術を農業試験場内で確立するための支援を行う。特に、野菜栽培に重点を置く。他農業試験場派遣のボランティアと技術を共有したり、アドバイスも期待される。 ・農村部を巡回し、現状を把握、地域に合った有機栽培技術を指導する。 ・他の農業試験場に、有機栽培の技術を提供する。 ※ブータンでは、有機野菜に付加価値があり、高値で取引されているというわけではない。地方の農家は農業・化学肥料が高価であるため購入できず、結果的に有機栽培に頼らざるを得ない状況にあり、このような農家を対象とする。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 基本的な農機具。トラクターなどの農業機械。	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 園芸部門スタッフ7名 20代~40代、経験3~15年、修士~農業専門学校卒	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☒ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)
--	-----------------------------------	---

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	・学歴 大卒 農学	学歴理由: 学術的な根拠に基づいた指導が必要	
	・経験 実務経験 5年以上	経験理由: 農場での実践的指導のため	
	理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			

概地 況域	気候(温暖(冬は寒冷)) 気温(-5 ~ 30℃位)	電気(□安定 ☒不安定 □なし)
	電話(☒インターネット可 ☒通話可 □不良 □なし)	水道(☒安定 □不安定 □なし)



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 8 月 4 日

要請番号(SL 215 - 08 - D - 16)

調査者名: 麻野 英二 V調整員

国名	職種 / 指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
コスタ リ カ	職種 野菜栽培	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ 月	1	21 / 1
	指導科目 養液栽培			2	21 / 2
	職種(英) Vegetable Growing 指導科目(英) Hydroponics			3	/

プログラム番号・名 2150000000007 プロジェクト名
国内産業競争力強化プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国立職業訓練センター (受入機関名)(英語) National Professional Education Center(INA)
	2) 配属先名 (日本語) 農業牧畜部門植物技術科 (英語) Department of agricultural and livestock
	3) 任地 サンホセ市ウルカ地区 首都(サンホセ市中心部)から 西 方向 5 Km 主要都市(サンホセ市中心部)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同センターは、国内産業の発展を支える優秀な労働人材を育成することを目的に1965年に設立され、主要都市に多数の施設を有する。将来の労働人材に対する多種多様な分野への職業訓練の機会を提供している。農業牧畜部門は本校とカルタゴに施設を所有している。養液栽培プロジェクトの2007年度予算はUS36,000である。同校内では廃棄物処理のシニア海外ボランティアが2007年4月から2年間の予定で活動中である。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同配属先は6年前より野菜の養液栽培についての研究をはじめ学内のモデル施設等にて農業者への技術研修も実施している。しかし、ランなどの花の栽培の技術が比較的進んでいるのに比較して野菜の養液栽培についての知識や経験が不足しているためシニア海外ボランティアの要請に至った。現在は屋外等での木の台を置き、れき・石・等を用いた簡易な養液栽培が中心であるが、温室内での養液を循環させる水耕栽培の導入も計画している。レタス、トマト、とうがらし、きゅうり、ねぎ等多種類の野菜を栽培している。養液(水耕)栽培の作物は、見た目がきれいで、農薬も少量しか使用しないことから商品価値が高く農業従事者の関心が高い。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・現在実施している養液栽培について現状分析を行い培地や養液及び栽培方法について同僚職員などに助言を行う。 ・特に温室内での水耕栽培について、必要な施設・機材や技術について助言を行う(高価な施設の導入は困難である)。 ・農業関係者を対象としたセミナーを実施する。 ・養液栽培に関係した農業プロジェクトへの技術支援を行う。 1か月間のうち3週間程度は学校内のモデル農場及び研究室での勤務、1週間程度は同僚と出張により養液栽培に関係した農業プロジェクトへの支援を行う計画である。(配属先HP http://www.ina.ac.cr/)。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 机 電話 FAXなどの事務機器 モデル農場施設(温室など)※現在はランなどの花卉類の栽培が中心である 生物化学研究室	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 養液栽培プロジェクト 男性2名 農学系大学卒 勤続15年 勤続5年 (同センター農業畜産部門約100名勤務)	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ 英語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ スペイン語 (レベル: C)
--	--	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	・学歴 大卒 農学	学歴理由: 同僚も農学分野大卒以上であるため
	・経験 実務経験 10年以上	経験理由: 同僚の技術も中程度であるため
	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(18~28 °C位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 8 月 4 日

要請番号(SL 545 - 08 - D - 03)

調査者名:末満広志

国名	職種/指導科目 (コード 1003)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウガンダ	職種 野菜栽培	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 農業技術・管理運営指導			2	21 / 2
	職種(英) Vegetable Growing			3	/
	指導科目(英) Agriculture Technical Advisor				年 月 から

プログラム番号・名 プロジェクト名
 教育と室のアクセス向上プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業畜産水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Animal Industries and Fisheries
	2) 配属先名 (日本語) ムコノ農業普及訓練所 (英語) Mukono Zonal Agricultural Research and Development Institute
	3) 任地 ムコノ県ムコノ 首都(カンバラ)から 東 方向 20 Km 主要都市(ムコノ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業試験・技術普及・研修の機能を兼ね備えた施設。①首都カンバラを中心としたビクトリア湖沿い扇型地域(LVCZ:Lake Victoria Crescent Zone)における農業生態圏に適した農業技術の開発。②モデルファームとしての機能。③優良種子・優良苗・優良家畜の増殖と普及。④農業指導者への訓練や農業従事者への研修。⑤宿泊施設、教室などの施設提供等を行っている。年間予算は274,000ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 1998年8月から畜舎・農場整備・灌漑施設・教育施設・給水施設などの建設、1999年3月から農場・財務運営、農民教育、作物、畜産の分野で日本の技術協力が行なわれた。(2000年6月でプロジェクト終了)その後、家畜飼育、野菜の計4名の隊員が派遣された。近年国の重要な農業研究機関として事業内容・機能・名称が変更された。それにともない、栽培技術面での助言や、組織の管理・運営に対する提言が求められており、今回のSV要請が出された。		
	2) 期待される具体的業務内容 同施設は日本の無償技術協力により恵まれた施設を有し、今後同施設が地域、農民に開けた事業を展開して行くために以下の業務が望まれている。 ・農民のニーズを反映した野菜栽培法の改善や試験・研究プランの作成。 ・配属先のスタッフに対する技術力向上を目的とした指導。 ・管理者(Director)と行動を共にし、同施設の管理・運営面での助言や改善点等の提言を行なうこと。 ・ウガンダの農業に関する情報の収集。 ・ウガンダにおける農業分野での技術協力の効果を総合的に向上させる。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農業、実験器具等一式		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル Director 50代 農業単科大学卒業生(20名)、技術者(30歳代)、他ワーカー多数	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
		性別理由:
	・学歴 高等専門学校卒 農学	学歴理由:
	・経験 実務経験 5年以上	経験理由:
		理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			

概地況	気候(亜熱帯) 気温(15~30℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
	電話(□インターネット ☑通話可 □不良 □なし)	水道(□安定 ☑不安定 □なし)

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 20 年 7 月 11 日

要請番号(SL 215 - 08 - D - 14)

調査者名: 麻野 英二

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
コスタ リ カ	職種 果樹栽培 (コード 1004)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目 アグロフォレストリー			1	21 / 1	日系/短期等 年 月 日 から
	職種(英) Fruit Growing			2	21 / 2	
指導科目(英) Agroforestry	3	/				

プログラム番号・名 2150000000007 プロジェクト名 国内産業競争力強化プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 熱帯農業研究教育センター
 (受入機関名)(英語) Tropical Agriculture Research and Higher Education Center

2) 配属先名 (日本語) 熱帯農業研究教育センター
 (英語) Tropical Agriculture Research and Higher Education Center(CATIE)

3) 任地 カルタゴ県トゥリアルバ市
 首都(サンホセ)から 東 方向 67 Km
 主要都市(トリアルバ市中心部)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 1942年にアメリカ農務長官が提唱、コスタリカ政府が賛同し前身である組織が設立され、1973年に現在の配属先が設立。熱帯農業の研究と高等教育を目標としている。現在中南米13カ国がメンバーとなっており、同センターで開発研究された技術はメンバー国に共有されている。また、修士・博士号の取得が可能な教育機関でもあるため外国からの留学生も多い。職員数481名(内研究員150名程度)、年間予算約25億円。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同センターでは、熱帯植物(コーヒー、バナナ、カカオなど)を対象に、栽培や品種改良の研究及び品種の保存を行っている。現在ノルウェー等の資金援助により中米広域を対象としたカカオと林木と果樹を複合したアグロフォレストリー(農林複合経営)システム構築のためのプロジェクトに取り組んでいる。施設内農場だけでなく、タラマンカ地方(配属先から東方向約150km、カリブ海方面)のカカオ農場も対象としている。適切な果樹の選定及び栽培等について日本の経験・技術をとりいれたいとの要望があり、要請に至った。
 (英語HP <http://www.catie.ac.cr/Magazin.asp?CodIdioma=ENG>)

2) 期待される具体的業務内容
 1か月のうち、約1週間程度はタラマンカ地方に出張し現場での調査等を行い(農場施設などに宿泊)、その他は配属先施設内の種保存農場(50ha、数千品種の熱帯果樹を栽培)を中心に必要に応じて研究室でも業務を実施する。
 ・配属先農場(標高約600m)内及びタラマンカ地方のカカオ農場において、カカオ、林木との混合栽培に適した経済価値の高い果樹の評価・選定を行う。害虫耐性、気象・土壌への適応、収穫後の保存性、市場価値等を考慮する。
 ・現在候補としている果樹は、コーヒー、サポーテ、グアバ、グアナバナ(トゲバンレイシ)、やし等の熱帯果樹であり、カカオ品種についても選定を行う。
 ・カカオプランテーション農家に対し選定した果樹栽培についての研修を実施し、低所得地域住民の所得向上をめざす。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 事務机、コンピューター(インターネット可)、電話、FAX、実験農場(50ha)、生物化学研究室(組織培養施設、オートクレーブ、遠心分離機、顕微鏡、各種検査機器)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 アグロフォレストリー部門長 男性 アメリカ人 博士
 同僚研究員 コスタリカ人 男性 40歳代 修士他 持続的植物資源利用プロジェクトメンバー及び学生20名程度
 プロジェクト対象地域農民

5) 業務使用言語
 ● スペイン語
 ()
 ○ 英語
 ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: A)
 スペイン語 (レベル: B)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 ・学歴 修士 農学 学歴理由: 修士・博士号の取得が可能な教育施設であるため
 経験理由:
 ・果樹研究経験 5 年以上 理由: 同僚職員の技術レベルも高いため
 理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度
 有 無 車輦 単車 自転車 N

概地 気候(亜熱帯) 気温(20~33℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 況域 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 1 月 30 日

要請番号(SL 303 - 08 - D - 15)

調査者名: 山本パトリシア

国名	職種/指導科目 (コード 1004)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 果樹栽培	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 熱帯果樹栽培			2	21 / 2
	職種(英) Fruit Growing 指導科目(英) Fruit Growing			3	/

プログラム番号・名 3030000000005

プロジェクト名 小規模農家支援

地域経済活性化

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) フォルモサ州 (受入機関名)(英語) Province of Formosa
	2) 配属先名 (日本語) 有用農業技術センター (英語) Agricultural technology center
	3) 任地 フォルモサ州フォルモサ市(首都) 首都(フェノスアイレス)から 北 方向 1200 Km 主要都市(ミシオン・ヌアグレ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 州政府は、州内各地に適した農法が確立されたことにより、フォルモサ中西部開発計画を立案した。その計画は、州内3ヶ所に農業技術確認センターを設置し、各センター所管地域の生産者を対象に良品種の導入にかかわる人材育成、試験栽培、加工と流通および普及に関連する技術指導を目的としている。予算:900千ドル

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先は2005年に設立され、現在インフラ(実験室、圃場、倉庫など)を整備中である。所管地域はフォルモサ市から北へ200kmの地域であり、バナナおよびマンゴ栽培地域に位置しているが、十分な栽培技術とポストハーベスト・包装に係る技術を有していないため生産品の競争力は低いと言わざるを得ない状況にある。本地域は亜熱帯地域であり、雨量は年間1000mmであることから、州政府は気候条件を考慮しながら新たな付加価値のある熱帯果樹(パパイヤ、パイナップル、ピワ、グアバなど)の生産地域に改革することを優先的政策として取り組んでいることから、協力が求められた。		
	2) 期待される具体的業務内容 ①地域の立地条件に適した作物の選択に関する助言 ②各作物による試験栽培の計画立案 ③各種の栽培方法、灌水法、害虫のコントロール法、収穫法等に関する技術指導 ④ポストハーベストに関する技術指導 ⑤マニュアル作成にかかる指導		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 農機具類		

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 大卒2名(男性、40~50代)			5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ スペイン語 ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由						
	性別理由:						
	学歴理由:						
経験理由:							
理由:							
理由:							

活動用交通手段の必要性				研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無	○車輦	○単車	○自転車			

概地況	気候(亜熱帯) 気温(5~40℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 6 月 30 日

要請番号(SL 045 - 08 - D - 01)

調査者名: 多賀谷 健司

国名	職種/指導科目 (コード 1005)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
モンゴル	職種 組織培養	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	21 / 1	年 月 から
	指導科目 組織培養			2	21 / 2	
	職種(英) Tissue Culture 指導科目(英) Tissue Culture			3	/	

プログラム番号・名 0450000000006 プロジェクト名
 牧地と農牧業再生プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 食料農牧省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Food and Agriculture

2) 配属先名 (日本語) 植物科学農業研究所
 (英語) Plant Science and Agricultural Research Training Institute(PSARTI)

3) 任地 ダルハン
 首都(ウランバートル)から 北 方向 240 Km
 主要都市(ウランバートル)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 モンゴルの農業発展のための政策の中で、研究、教育と生産活動を合理的に組み合わせることで、国の農作物セクターの持続的発展のために、農作物科学の研究、農業、自然環境保護、土地管理分野での研修を行い、同時に主要な農作物のエリート栽培種子を生産し、供給する。研究部門は7、教育部門は6学部、6研究所を持ち、1400人の学生と50人の教職員からなる。予算は約26万米ドル。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 気候変動に対応するため、モンゴルの農業部門は新しい技術、新しい作物品種又は多様な品種を必要としている。現在、果実の生産量は必要とされる消費の85分の1であり、健康・衛生水準を満たしていない。現在、植物生命科学ラボでは組織培養によりウイルスフリーのジャガイモ種の生産だけに集中しており、耐寒性の果樹、小果実(キイチゴ類)の導入・繁殖により果実の生産を増大することが不可欠となっている。そこで、耐寒性のある果物遺伝資源探索と果樹繁殖法と苗木育成に経験を積んだボランティアが要請された。

2) 期待される具体的業務内容
 果樹繁殖のため組織培養、バイオテクノロジーを応用して研究・生産活動をおこなう。又、品種改良のためのバイオテクノロジー応用について研究者・学生に講義をおこなう。実験をおこなう優先作物は ①リンゴ ② クロフサスグリ ③ サジ ④キイチゴ等である。実験は下記点を含む。
 ・組織培養のための移植片の選択
 ・それぞれの果樹に適した培養基組成の選択
 ・茎頂培養法の開発

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 Media preparation and washing room, Transference and 2 culture rooms, Lamina flow clean bench等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 同僚研究者:女性、40歳代、2名
 指導対象: 研究者、学生

5) 業務使用言語
 ○ 英語 ()
 ● モンゴル語 ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: A)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 活動に必要
 学歴 大卒 農学
 経験理由: 研究及び講義に必要
 経験 実務経験 5年以上
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

概地 気候(大陸性気候) 気温(+30~ -30℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 概地 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)

要請番号(SL 048 - 08 - D - 06)

調査者名: 柴崎 栄司

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
ブータン	職種 病虫害対策 (コード 1101)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 総合的病虫害管理			1	21 / 1	年 月 から
	職種(英) Disease and Pest Control 指導科目(英) Integrated Pest Management			2	21 / 2	
		3	/			

プログラム番号・名 048000000013 プロジェクト名 農業技術開発・普及プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農業省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture

2) 配属先名 (日本語) 農業局 国立植物防疫センター
 (英語) National Plant Protection Centre, Department of Agriculture

3) 任地 ティンブー県シムトカ
 首都(ティンブー)から 南 方向 7 Km
 主要都市(ティンブー)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 同配属先は主要農産物の総合的病虫害管理を行う機関である。病虫害診断やその対策、農薬の提供、農業普及員や農家へのトレーニング、普及活動などを行っている。植物病理課、昆虫課、雑草脊椎動物課、農業課で構成されている。年間予算は約170万ドル。2008年からは、EU支援で農業支援サービスプロジェクトが開始し、7郡の農民へ病虫害管理を含む総合的技術指導を行う予定。TICAも昆虫学ボランティア派遣を計画。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同配属先スタッフの多くは海外留学で知識だけは有しているが、実際の経験に乏しく、十分なサービスを農民に提供できない状況にある。近年においては、シトラスグリーニングの被害が大きく、貧困層の多く南部において著しい。また、ブータン独特の背景が、対策の手段を制限している(殺生を嫌うので殺虫剤は使いたくない、有機栽培への過剰な期待、限られた農業市場等)。このような背景において、農作物、特に果樹についての総合的病虫害管理のアドバイスが求められ、要請に至った。

2) 期待される具体的業務内容
 ・農作物、特に果樹についての総合的病虫害管理を、ブータンの文化、農民の気質や経済力に配慮しながら、同僚スタッフと共に確立する。必要に応じて、地方の農家を巡回し、現場での指導を行うことも期待される。シトラスグリーニング対策が第一優先。対策を講じるにあたり、既に試みられている現地的手法(薬草との混栽など)も考慮する。
 ・シトラスグリーニングの診断のために、PCRでの分析技術をラボラトリー技師に指導する。
 ※病虫害対策や野菜栽培指導は、各ゲオック(郡に相当:205郡)に配置された農業普及員や、国内4か所の農業試験場スタッフがやっている。病虫害に感染した場合は、彼らからまず情報が入り、サンプルの診断、アドバイスを行う。
 ※他農業試験場には他のボランティアが赴任中であり、技術的支援も期待される。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 Eppendorf社製Mastercycler(PCR)、遠心分離機、マイクロピペット等実験器具一式、顕微鏡

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 シニアオフィサー4名(農業、病虫害、果樹等マスター所持、30~40代、経験5~10年)
 ラボラトリー技師2名(大卒、30代、経験10年程度)

5) 業務使用言語
 ● 英語
 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: A)
 (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 植物病理学の学歴が必須
 学歴: 大卒 業務関連分野
 経験理由: 実践的な対策を確立するために必須
 経験: 実務経験 10年以上
 理由: 期待される業務に必要
 ・PCR分析
 理由:

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等

形態

現職教員特別参加制度

概地況域

気候(温暖(冬は寒冷)) 気温(-5 ~ 30℃位) 電気(□安定 不安定 □なし)
 電話(インターネット可 通話可 □不良 □なし) 水道(安定 □不安定 □なし)



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 7 月 9 日

要請番号(SL 251 - 08 - D - 06)

調査者名: 綿引純男調整員

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パナマ	職種 病虫害対策 (コード 1101)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 病虫害防除			1	21 / 1	年 月 から
	職種(英) Disease and Pest Control			2	21 / 2	
指導科目(英) Control of Plant Disease and PLAGUES	3	/				

プログラム番号・名 2510000000003 プロジェクト名
 地方貧困削減のための地域開発モデル・プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧研究庁 (受入機関名)(英語) Panamanian Institute of Agricultural Research (IDIAP)
	2) 配属先名 (日本語) 農牧研究庁オジャス・アリバ試験場 (英語) IDIAP - Experimental Station of Ollas Arriba
	3) 任地 パナマ県カピラ市 首都(パナマ市)から 南西 方向 54 Km 主要都市(パナマ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は農林水産業の生産性向上を目的に、調査・研究および生産者への指導を行う農牧省内の機関である。プログラム計画2005-2015では、食の安全性、農産物の競争力、持続的な農業、国家的農業技術力の強化を上位目標に取り組んでいる。同試験場は、農業技師3名、同助手2名、作業員5名他、計14名のスタッフ。プロジェクト予算は、8,000米ドル。他に機材購入予算として、23,000米ドルを計上している。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先では、近年の農産物輸出において、国際的に化学農薬の使用規制が厳しくなってきたため、減農薬による病虫害対策が重要視され、組織を挙げてこの対策に取り組んでいる。しかし、豊富な経験と知識を持ち合わせた人材が不足しているため、今回の要請があげられた。主にトマトに被害をもたらす、Mosca Blanca(コナジラミ)に対する寄生防除の研究に取り組んでいる。同試験場は15hの面積で、他に、薬草栽培と野菜等の種子採取のプロジェクトに取り組んでいる。	
	2) 期待される具体的業務内容 主な対象作物はトマトであるが、その他国内生産・消費される様々な野菜類も対象として以下の業務が期待されている。 ① 害虫天敵の飼育 ② 寄生防除法の策定 ③ 総合防除による、トマト等野菜栽培法の確立	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務室、執務机、基本的な検査器具	

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 生物防除プロジェクト責任者: 女性(昆虫学修士)、50歳代、本庁勤務 同試験場同僚: 女性(バイオテクノロジー技師)、30歳代 同試験場同僚: 男性(農業助手)、50歳代		5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) ☑ スペイン語 (レベル: C)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由			
	性別理由:		理由:	
	学歴 修士 農学		学歴理由: 指導対象者が修士以上のため	
	経験 実務経験		経験理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地 況域	気候(熱帯) 気温(25-35) 電話(☑ インターネット可 □ 通話可 □ 不良 □ なし)	℃位) 電気(☑ 安定 □ 不安定 □ なし) 水道(☑ 安定 □ 不安定 □ なし)
----------	--	--



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄 受験番号

記入日:平成 20 年 7 月 4 日

要請番号(SL 315 - 08 - D - 01)

調査者名: 清水 義朝

国名	職種 / 指導科目 (コード 1101)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
コロンビア	職種 病虫害対策	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 植物病理			2	21 / 2
	職種(英) Disease and Pest Control			3	/
ア	指導科目(英) Plant pathology				年 月 日から

プログラム番号・名 0210000000015 プロジェクト名
 教育の質とアクセス向上プログラム

1) 受入省庁名(日本語) コロンビア農牧研究公社
 (受入機関名)(英語) Colombian Corporation of Agricultural Research; CORPOICA

2) 配属先名 (日本語) コロンビア農牧研究公社
 (英語) Colombian Corporation of Agricultural Research; CORPOICA

3) 任地 クンディナマルカ県モスケーラ
 首都(ボゴタ)から 西 方向 20 Km
 主要都市(ボゴタ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 正規職員約1200名、臨時職員等約300名を擁するコロンビア最大かつ中心的な農業研究機関。年間事業費は42億円。さらに、年間数百人規模の学生を受け入れ、教育機関としても重要な役割を果たしている。主要部門であり、ボランティアが勤務する生物技術産業センター(CBB)は150人の正規職員を抱え、事業予算は年間5億円。病虫害管理を目的とした様々な研究を行っている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 同国における農業上の最大の問題の一つが農業の不適切な利用、とくに多用である。また、危険度の比較的高い農業が価格や効果の面から多用される傾向にあり、その使用は無秩序であることから環境や人体に与える影響はもとより、害虫のリサーチエンスあるいは耐性菌の出現などが危惧される現状である。現在、病原微生物(ウイルス含む)の探索、同定、病原に対する拮抗微生物の探索など、生物防除法の確立を目指しているが、作物の病気要因の解析、そして作物の病原および病原に対して抑制作用をもつ微生物の遺伝子学的分類についての技術、知識が不足しているため、ボランティアへの協力要請となった。

2) 期待される具体的業務内容
 以下①及び②の活動を行う。可能であれば③の活動も行う。
 ①重要作物の病害の原因解明の支援。
 具体的には、罹病個体から病原体を分離、純粋に培養し、その性状を調べるとともに、接種試験を行って病気が再現されるかどうかを確認する。
 ②断定された病気の拮抗微生物等微生物農薬候補種の検索、分離、純粋な培養、効果試験の支援(生物農薬開発)。
 ③①②で分離された微生物の遺伝子学的な分類の支援。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 PCR、シーケンサー、実態顕微鏡、光学顕微鏡、電子顕微鏡、核酸増幅装置、リアルタイム核酸増幅装置など。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 ・所属部署長はJICA帰国研修員、研究歴26年、植物病理学専門
 ・日本人研究員、研究歴10年 植物生理学専門
 ・その他多数の研究者が活動を共にする

5) 業務使用言語
 ● スペイン語 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: D)
 スペイン語 (レベル: D)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 同僚たちは修士以上の学歴があり、同等に業務する
 経験理由: 同僚たちの経験年数と同レベルの経験が求められ
 理由:
 理由:

・学歴 修士 農学
 ・経験 実務経験 10年以上

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地況 気候(温帯) 気温(5~25℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 1 月 1 日

調査者名: 松本博富

要請番号(SL 324 - 08 - D - 06)

国名	職種 / 指導科目 (コード 1101)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
パラグアイ	職種 病虫害対策	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 病害防除			2	21 / 2
	職種(英) Disease and Pest Control 指導科目(英) Plant Diseases			3	/

プログラム番号・名 3240000000010 プロジェクト名
小農自立化支援

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2) 配属先名 (日本語) 国立農業研究所 (英語) National Institute of agriculture
	3) 任地 コルディジェラ県カアクペ市 首都(アスンシオン市)から 東 方向 45 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同研究所では、1997年から2002年まで、JICAによって「小農野菜生産技術改善」プロジェクトが実施された。同プロジェクトでは育種、栽培、病害防除、虫害防除の各分野の実験室が整備され、小農に適した栽培技術の開発、病虫害の防除法の開発、適正品種の育種等の活動と、栽培技術の普及が行われてきた。2005年4月から虫害防除のSV、2007年3月から病害防除のSVが派遣されてきた。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) パラグアイでは人口の半数近くが農村部に分布しているものの、小農対策は最も対応が遅れており、国内では30%弱にものぼる土地なし農民が存在する。これら小農の生産基盤および生産技術強化、生産物の多様化や付加価値の向上は農業セクター強化の支柱になる。研究所ではこれら背景を踏まえ、小農に適した栽培技術の開発、病虫害の防除法の開発、適正品種の育種等の開発と合わせてこれら適正技術の普及を行ってきた。プロジェクト終了後は独自に活動を継続してきたが、専門的な技術指導が必要となり、ボランティアの要請に至った。		
	2) 期待される具体的業務内容 前任SVの活動をさらに機能的かつ効率的に進めるため、下記項目についてカウンターパートへの指導を行う。 ①野菜(トマト、ナス、メロン等)の病害の実態調査 ②病害(ウイルス病、細菌病)の同定 ③これら病害の防除方法の開発 ④病害防除にかかる技術指導と普及活動		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 光学顕微鏡、クリーンベンチ、恒温器、オートクレーブ、乾熱滅菌器、冷蔵庫、実体顕微鏡		

資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 植物用理研究員(男性、30歳後半)、大学農学部卒、プロジェクトの日本人専門家のカウンターパート経験・本邦技術研修経験有り。			5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由			性別理由:	
	・経験 実務経験 5年以上			学歴理由:	
				経験理由: 実務を通じてカウンターパートへ指導を行うため。 理由: 理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地域	気候(亜熱帯) 気温(5~40 °C位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	

要請番号(SL 033 - 08 - D - 04)

調査者名: 渡辺憲夫、古川寛

国名	職種/指導科目 (コード 1102)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
中華人民共和	職種 土壤肥料	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	21 / 1	年 月 から
	指導科目 土壤改良			2	21 / 2	
	職種(英) Soils and Fertilisers 指導科目(英) Soil improvement			3	/	

プログラム番号・名 0330000000007 プロジェクト名
 両国民の直接交流支援

1) 受入省庁名(日本語) 黒龍江省科技厅
 (受入機関名)(英語) Heilongjiang Science and Technology Department

2) 配属先名 (日本語) 安達市先源郷友誼牧場
 (英語) Andashi xianyuanxiang youyi ranch

3) 任地 黒龍江省安達市
 首都(北京)から 北東 方向 1000 Km
 主要都市(ハルビン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 当牧場は1958年設立。乳牛の飼育、飼料生産、草地改良を主な事業としている。畜舎5棟を有し、乳牛数は410頭、そのうち牛乳の生産可能な乳牛は280頭。牛乳の年間生産量は6,100kg。なお、当牧場はJICA「中国黒龍江省酪農乳業発展」技術協力プロジェクト(2001年7月1日～2006年6月30日)のサイトの一つであった。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 2006年に終了したJICA「中国黒龍江省酪農乳業発展」プロジェクトでは、①サイトの牧場における飼料生産技術を確立する、②サイトの牧場における飼養管理技術を確立する、③乳製品製造技術を確立することを目標とする技術協力が行われ、プロジェクト終了時には目標が達成されたが、アルカリ土壌の改良、牧場の牛糞尿処理、乳業の繁殖障害についてプロジェクトの技術を十分に活かしきれておらずSVの派遣が要請された。付近一帯はアルカリ土壌で飼料生産の障害となっている。

2) 期待される具体的業務内容
 中国JICAボランティア活動は両国民の直接交流支援を目的としている。以下の業務を行ないつつ、日本と中国の交流の一助となることが求められている。
 1.アルカリ地帯の土壌の改良をカウンターパートとともにこなす。
 2.当牧場スタッフの土壌改良技術向上支援。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 TMR混合機8m3、乳牛用体重測定機、どうもろこし収穫機JD1780、草刈機JD702、トラック、トラクター

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 牧場スタッフは29名。学歴は高校卒から大学院卒までさまざま。年齢は20代～50代。	5) 業務使用言語 ● 中国語 () ○ ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: D) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	------------------------------------	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:	
学歴理由: 業務を遂行するために必要	学歴 大卒 農学
経験理由: 業務を遂行するために必要	経験 実務経験 15年以上
理由:	
理由:	

活動用交通手段の必要性

研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車		

概地況 気候(亜寒帯) 気温(-27~31℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 1 月 1 日

要請番号(SL 324 - 08 - D - 05)

調査者名: 松本博富

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パラグアイ	職種 土壤肥料 (コード 1102)	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目 土壤分析			1	21 / 1	年 月 から
	職種(英) Soils and Fertilisers			2	21 / 2	
指導科目(英) Soil Analysis	3	/				

プログラム番号・名 324000000010 プロジェクト名 小農自立化支援

1) 受入省庁名(日本語) ピラル大学
(受入機関名)(英語) University of Pirar

2) 配属先名 (日本語) 基礎・応用生態学研究室
(英語) Laboratory of basic and applied ecology

3) 任地 ニェンブク県ピラル市
首都(アスンシオン市)から 南西 方向 350 Km
主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
ピラル大学基礎・応用生態学研究室は、学長直属の研究室でニェンブク地域の水系と水系生物の研究及び土壌の分析を行っている。同研究室ではこれまでに土壌分析の短期専門家や農牧省配属のSVらの指導により、土壌分析の基盤が整備された。2006年から前任SVが、土壌分析データの活用法と施肥試験を含む栽培試験の技術移転を行った。その他、KOICAにより2006年から淡水養殖技術の技術移転が行われた。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
前任SVは土壌分析に基づいたニェンブク県の土壌に適合した土壌診断基準・施肥標準の策定への技術指導が求められ、既存のデータの解析より、リン酸と窒素が不足しがちなことと収量性が低いことで肥料購入が出来ない状況を解明した。そこで施肥の前提となる収量性の向上と上記項目の策定を目的として、施肥をはじめとする一連の栽培試験が計画され、試験方法の技術移転が行われた。今後、更なるデータの蓄積、およびそれに基づいた栽培条件の実証とニェンブク県の土壌に適合した土壌診断基準・施肥標準の策定が求められている。

2) 期待される具体的業務内容
カウンターパートに対して以下の項目について指導する。
① トウモロコシ・綿を対象とした収量性の向上を目的とした施肥試験を含めた栽培試験。
② トウモロコシ・綿を対象とした施肥試験に基づいた土壌診断基準・施肥標準の策定。
③ その他ニェンブク県の土壌に適した栽培品種の試験。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
分光光度計、pHメータ、伝導度計、播種器、巻尺

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ① 土壌分析: 大学助教授、30歳代、農学士 ② 栽培試験: 大学教授、60歳代、農学士	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ (レベル:)
---	--------------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由: _____
 学歴理由: _____
 経験理由: _____
 理由: _____
 理由: _____

・経験 実務経験 5年以上

活動用交通手段の必要性

○ 有 ● 無 ○ 車輦 ○ 単車 ○ 自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

概地況 気候(亜熱帯) 気温(5~40 °C位) 電気(☑ 安定 □ 不安定 □ なし)
 電話(☑ インターネット可 ☑ 通話可 □ 不良 □ なし) 水道(☑ 安定 □ 不安定 □ なし)



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄 受験番号

記入日:平成 20 年 6 月 24 日

要請番号(SL 018 - 08 - D - 04)

調査者名: 坂下 英喜

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
タイ	職種 農業協同組合 (コード 1501)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 生活改善指導			1	21 / 1	年 月 から
	職種(英) Farmer's Co-operatives			2	21 / 2	
指導科目(英) Life Quality Development	3	/				

プログラム番号・名: 地域協力促進プログラム
 プロジェクト名:

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) 農業・協同組合省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Cooperatives

2) 配属先名 (日本語) 協同組合振興局
 (英語) Cooperative Promotion Department(CPD)

3) 任地 バンコク中心部
 首都(バンコク中心部)から 北 方向 2 Km
 主要都市(バンコク中心部)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 協同組合振興局は、タイにおける協同組合運動を推進する役割を担っている。農業組合は7つある協同組合組織のひとつである。タイ国内には、現在3,993の農業組合があり、5,865,178の世帯が所属している。主な業務は組合員に対する資金の貸付である。現在、職員は120名、年間予算は3,800万バーツである。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 タイでは、農業は重要な産業であり、農民数も全就業者数の約半分となっている。現在、タイでは約4000の農業組合があり、加盟世帯数は約3580万世帯となっている。現在タイの農業協同組合の主な業務は、組合員に対する貸付業である。しかし、タイの農協も日本の農協と同様、組合員に対する技術指導や保健医療、高齢者介護、生涯学習を含めた生活の質の向上など、農民の一生に関わる生活改善に取り組むべきであるという動きがある。(以下下欄へ)

2) 期待される具体的業務内容
 JICAの技術協力プロジェクト「タイ農業協同組合におけるコミュニティーリーダー育成計画」(2007年3月開始)で日本の「生活改善」の活動を知ったCPDの職員が、「生活改善」をタイにも導入しようと考え、今回の要請となった。活動内容は以下のとおり。
 1 日本の生活改善運動の知識や経験を地域のリーダーやCPDの職員に紹介する。
 2 生活改善運動に必要な組合員の基本的なデータを調査する。
 3 生活改善運動の活動計画を作成する。
 *農協パイロットサイトへの地方出張も予定されています。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 オフィスでの仕事に必要なPC、プリンター等はある。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 同僚 50代女性 修士 経営学修士 日本での研修経験あり 地域指導者育成プログラム
 40代女性 学士 経済学

5) 業務使用言語
 ● 英語 ()
 ○ タイ語 ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: C)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 専門的な知識が必要のため
 経験理由: 実際に関係者に指導することが多いため
 理由:
 理由:

・学歴 大卒
 ・経験 実務経験 5年以上

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

概況

気候(熱帯モンスーン) 気温(22-36℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 8 月 4 日

要請番号(SL 312 - 08 - D - 03)

調査者名:松本 マツノ

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
チリ	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 地域経済開発			2	21 / 2
	職種(英) Rural Community Development			3	/
	指導科目(英) Local Economic Development				年 月 から

プログラム番号・名 3120000000001 プロジェクト名
 地方開発支援

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 内務省地域開発次官官房(SUBDERE) (受入機関名)(英語) Ministry of home affairs(SUBDERE/Subsecretary Region Development)	
	2) 配属先名 (日本語) クラニラウエ区役所 (英語) Curanilahue Municipal Office	
	3) 任地 第8州アラウコ県クラニラウエ区 首都(サンティアゴ)から 南西 方向 520 Km 主要都市(コンセプション)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間)	
要 請 概 要	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) クラニラウエ住民(32,000人)の生活向上を目指した公共サービスを担う地域住民開発課が、土木・建築・増改築工事、交通整備・企業支援・雇用斡旋・女性支援・観光等を遂行している。職員(契約職員含)は約80名。現在地域開発の一部として300軒の住宅を建設中で、さらに700軒の住宅増設が予定されている。なお、同地域は技プロ「地域産業振興のための行政機能強化」の一地域となっている。予算447万ドル。	
	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 同地の住民は、以前炭鉱に従事してきたが、閉山により新たな生活手段を探ることになった。しかし、町の95%の土地が住居として整理され、5%のみが耕作地となっているため、土地を利用した住民の経済を豊かにする手段は見つからず、職業確保が難しく貧困率が高い現状にある。現在は、植林、零細・小企業(2~20名/ノーセージ製造・修理工・縫製業・パン屋・家具店・冶金工・観光など)に従事し生活を維持している。こういった背景から住民の経済活性化を図るための支援を受けたいと要請が挙がった。	
	2) 期待される具体的業務内容 受益者となる零細・小企業の事業主及び従業員(1500人)のため、同区役所産業振興課で、チリ国内では比較的少ない専門分野「地域経済開発」に関しての支援を行い、スタッフの育成を図る。 1. 地元の経済発展に向けた計画と準備の支援 2. マーケティングの観点から製品・サービスに対するアドバイス 3. 生活財源を生み出すためのプロジェクト立ち上げのアドバイス 4. プロジェクトの評価 5. 輸出を目標とした総体的なアクションプランを生み出す 6. 零細・小企業の現場訪問(少なくとも1回/週)	
要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ、プロジェクター、デジタルカメラ、執務室、公用車(巡回時使用)	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル カウンターパート: 女性 20歳代 スタッフ: 男性/女性 20歳代~30歳代 零細・小企業の事業主及び従業員 10歳代~50歳代	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	・学歴 大卒 業務関連分野	学歴理由: 業務を遂行する上で必須
	・経験 実務経験 10年以上	経験理由: 業務を遂行するため
	・マーケティング経験者	理由: 業務を遂行するため必須
・地域経済開発の経験者	理由: 業務を遂行するため必須	
活動用交通手段の必要性		
○有 ●無	○車輦 ○単車 ○自転車	研修等 形態 現職教員特別参加制度
概地 況域	気候(地中海性気候) 気温(5~30℃位) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 6 月 18 日

要請番号(SL 333 - 08 - D - 04)

調査者名:長谷川弘美

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ウルグアイ	職種 村落開発普及員 (コード 1503)	● 新規 ○ 交替 1 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1	年 月 から
	指導科目 栄養改善・生活の質向上			2	21 / 2	
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英) Improvement Living			3	/	

プログラム番号・名 3339999999999

プロジェクト名 基礎教育強化プログラム(青少年・成人)

ウルグアイ その他プログラム

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 大統領府予算企画庁 (受入機関名)(英語) Governmento House, Budget and Planning Office		
	2) 配属先名 (日本語) モンテビデオ女性キリスト協会 (英語) Young Womens Christian Association(YWCA)		
	3) 任地 モンテビデオ 首都(モンテビデオ)から 東 方向 3 Km 主要都市(モンテビデオ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)		
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) YWCAのモンテビデオ支部。NGO組織。モンテビデオ市の中心街にある。19世紀後半に建てられたヨーロッパ建築のYWCAの建物には、県外から来る大学生の宿泊室(現在64人)、高齢者の宿泊室(現在7名)、体育館、図書室がある。職員数は総務、経理、スポーツインストラクターなどを含め14名、会員数は約250名。ボランティアが約200名。バレーボール、ヨガ、体操教室、英語、編み物、演劇教室などを行っている。		
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先は、生活改善と生活の質の向上をめざし、各種スポーツ教室、語学教室、手芸、編み物教室など、様々なコースを会員に提供している。また、地域への社会活動も行っており、施設を開放して、障害者、貧困の高齢者、学生の支援をしている。同NGOのサービスをさらに充実したものにしていいため、栄養改善をととした健康コースや料理教室の開設が望まれている。また、その活動は配属先内だけにとどまらず、地域コミュニティーでの栄養指導なども期待されている。ゼロから新コースを開設していかため、ボランティアの自主性や発想力が必要とされる。会員は全員女性で、18歳から90歳以上までいるが、高齢者の方がたいへん多い。		
	2) 期待される具体的業務内容 1、YWCA内のコースに栄養改善・健康コース(仮名)を開設し、インストラクターとして協力する。 2、栄養改善・健康コースの中に、料理実習などを取り入れ、コースの充実を図る。 3、モンテビデオ市内のコミュニティーにて、YMCAの出張コースとして、生活改善のための栄養指導、食生活の改善を中心としたセミナーや勉強会を実施する。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし		
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・YWCA職員 14名 平均年齢約60歳 ・YWCAボランティア 200名 ・YWCA会員 女性 約250名 18歳~90歳以上	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: ・経験 実務経験 5年以上 経験理由: 理由: 理由:		
活動用交通手段の必要性 ○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		研修等	形態 N
概地況	気候(温暖)気温(3~34℃位) 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)	電気(☑安定 □不安定 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 7 月 2 日

要請番号(SL 333 - 08 - D - 10)

調査者名:長谷川弘美

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ウルグアイ	職種 村落開発普及員 (コード 1503) 指導科目 野菜栽培	● 新規 ○ 交替 1 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	職種(英) Rural Community Development 指導科目(英) Vegetable Cultivation			2	21 / 2
				3	/

プログラム番号・名 3330000000004 プロジェクト名 地域産業振興プログラム
 地域経済活性化プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) ロチャ県庁 (受入機関名)(英語) ROCHA PREFECTURAL OFFICE				
	2) 配属先名 (日本語) ロチャ県庁 (英語) ROCHA PREFECTURAL OFFICE				
	3) 任地 ロチャ県ロチャ市 首都(モンテビデオ)から 東 方向 180 Km 主要都市(ロチャ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) ロチャ県庁生産開発課は県の収益の65%を占めている観光開発に力を入れている。観光シーズン(11月~3月)には国内やブラジル、ヨーロッパからも観光客が訪れる。その他の産業はオリーブ・米などの農業、牧畜業、乳製品製造がある。また、県の木材を国内の製紙会社に輸送している。小規模経営だが、漁業・養殖なども行っている。県庁は老人ホームや学生の家、保育園に支援をしている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) ロチャ県は観光開発に力を入れているものの、観光シーズン以外の冬期(4月~10月)は住民の雇用機会が減少する傾向にある。野菜の消費に関しては、県民の消費量の約98%が首都のモンテビデオもしくは近郊で生産されている。大規模農家は米やオリーブなどを生産し、メルコスール諸国に輸出している。約35の小規模農家はロチャ市から60km離れたカスティージョ市に集中しており、10ha未満の土地を利用し、温室栽培や露地栽培で、じゃがいも、たまねぎ、トマト、さつまいも、かぼちゃなどを栽培している。これら小規模農家に対し、野菜栽培技術の普及および所得向上を目的に、この要請があがった。				
	2) 期待される具体的業務内容 小規模農家に対する農業技術支援。 1、県内の中小規模農家の現状調査を行う。 2、主にカスティージョ市に住む小規模生産者(10ha未満)に対して、野菜栽培の手法、農業技術の普及、助言を行う。 3、県庁生産開発課の職員や地域住民とともに、野菜栽培をとしたコミュニティー開発について提案していく。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・ロチャ県庁生産開発課課長 男性 30代 ・ロチャ県庁観光・地域開発顧問 男性 ・地域の小規模農業生産者	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)		
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由				
	性別理由:				
	学歴理由:				
	経験理由: ・経験 実務経験 10年以上 ・野菜栽培技術 理由:野菜技術を普及するため ・コミュニティー開発 理由:地域開発に携わるため				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					
概 況	気候(温暖) 気温(3~34℃位)		電気(☑安定 □不安定 □なし)		
	電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)		水道(☑安定 □不安定 □なし)		



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 6 月 18 日

要請番号(SL 048 - 08 - D - 03)

調査者名:柴崎 栄司

国名	職種 / 指導科目 (コード 1901)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ブータン	職種 農林統計	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1	年 月 から
	指導科目 統計解析			2	21 / 2	
	職種(英) Agricultural and Forestry Statistics 指導科目(英) Statistics analysis			3	/	

プログラム番号・名 0480000000013 プロジェクト名
農業技術開発・普及プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農業省
(受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture

2) 配属先名 (日本語) 政策計画局 情報管理課
(英語) Information Management Section, Policy and Planning Division

3) 任地 ティンブー
首都(ティンブー)から 北 方向 0 Km
主要都市(ティンブー)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
同配属先は、地方に展開している農業試験場や県農業オフィサーなどを通じて、穀類、果樹、家畜、森林資源などの情報を収集し、毎年まとめています。この資料を基に、市場分析などを別の部署が実施している。10年ごとに大規模なセンサスを行っており、2000年に最初のセンサスを実施した。分析能力に長けたスタッフがいないため、FAOなどの外国援助機関から技術的・資金的援助を受けている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
同配属先には専任スタッフが1名しか配属されておらず、統計の専門家ではないため、的確な統計データの収集、解析が行えていない現状にある。統計データ収集のために既存のスタッフを活用しているが、データの取り方なども統一されておらず、調査票を配布しているだけである。また、2009年に大規模な農業分野のセンサスを実施予定であり、その解析を行うために、統計の専門知識を持つ人材を必要としており、今回の要請に至った。

2) 期待される具体的業務内容
・2009年中ごろまでに完了する、農業分野のセンサスの結果を統計分析し、2010年に公式文書として出版する作業を支援する。また、統計分析は、農業省関連部署にも配布されるため、活用しやすい形式にまとめることが求められる。
・大規模なセンサスは10年おきに実施しているが、小規模なセンサスは毎年実施している。その調査項目やサンプリング手法などの見直しも期待される。
※センサスは、各地の農業試験場や県農業事務所スタッフが、農民からの聞きとり調査を実施、取りまとめている。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
主にMS アクセス、エクセルを利用、SPSSも所有しているが、ほとんど利用されていない。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性1名、大卒、経験10年、30歳代 必要に応じて、外国ドナーからの短期コンサルタントや、農業省内から支援要員を確保し、チームとしてセンサスの統計分析に臨む。	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: A) □ (レベル:)
--	-----------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
学歴理由: 高度な統計分析が求められる
経験理由: 実践的な指導が求められる
理由:
理由:

・学歴 大卒 業務関連分野
・経験 実務経験 5年以上

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車			

概地況 気候(温暖(冬は寒冷)) 気温(-5 ~ 30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 19 年 12 月 11 日

要請番号(SL 009 - 08 - D - 09)

調査者名:藤田晃典

国名	職種 / 指導科目 (コード 1903)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
マレーシア	職種 農業生産技術	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	21 / 1	年 月 から
	指導科目 熱帯施設園芸			2	21 / 2	
	職種(英) Agricultural technology 指導科目(英) tropical horticulture			3	/	

プログラム番号・名 0090000000013 プロジェクト名
経済連携促進プログラム

配属先概要	1)受入省庁名(日本語) 農業省農業局 (受入機関名)(英語) Department of Agriculture , Ministry of Agriculture
	2)配属先名 (日本語) 商品開発センター (英語) Commodity Development Centre
	3)任地 セランゴール州セルダン地区 首都(クアラルンプール)から 南 方向 30 Km 主要都市(クアラルンプール)までの交通手段及び所要時間(車で約 1 時間)
	4)配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業試験機関や大学などで開発された農業生産技術について、普及に移す前段階として実用規模による生産を行い、技術の改良を行っている。また、農業指導者を育成するために研修生を受け入れ、実地の作業を通して農業技術を習得させる研修指導を実施している。この他、農業省が若手農業従事者育成のために進めている長期研修プログラムにも対応し、養液土耕による栽培研修を実施している。年間予算約2400万円

要請概要	1)要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 農業省農業局では、主に高地地域で生産されている栽培作物を、低地、高温地域でも高品質に栽培する技術を開発し、トマト、ナス、チリ、メロン等の生産性の向上を図るため熱帯施設園芸を導入したパイロットプロジェクトを実施している。現在、育苗、栽培管理、養液土耕等栽培施設装置の改良、作業改善についてシニア海外ボランティアが技術支援を実施しているが、技術の定着には、栽培生理、作物栄養、病虫害防除等、熱帯施設園芸による野菜栽培の技術改良を更に進める必要があり、低地での熱帯施設園芸による野菜栽培法を確立するため協力が求められている。
	2)期待される具体的業務内容 ・ウリ科作物に適した栽培管理技術の研究及び助言(肥料等の栄養適量、pH及びEC操作等) ・上記作物に関する病虫害防除の研究及び助言 ・マレーシア気候条件下での栽培に適した作物の導入、試作 ・熱帯施設園芸の低地導入に最適なビニールハウスの研究、デザイン ・最適な養液土耕オートメーションシステムの研究他 ・マレーシア国内市場の開発や果菜類の日本式の食べ方の紹介など
	3)ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 熱帯施設園芸のパイロットプロジェクト用に、養液土耕施設を備えた雨よけビニールハウス(10m×30m)48棟が用意され、試験研究および研修が実施されている。

資格条件	4)配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 配属先構成:職員約20名、現場職員約40名 指導対象者:技術職員(大学卒)	5)業務使用言語 ● 英語 () ○ マレーシア語 ()	6)選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: A) □ (レベル:)
------	---	--	--

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 大卒 業務関連分野	性別理由:
	・経歴 実務経験 15年以上	学歴理由: 同僚と同等の学歴が必要のため
	・熱帯での果菜栽培経験	経験理由: 現場の実務経験が求められる 理由: 現場の実務経験が求められる

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			

概地域	気候(熱帯雨林) 気温(25~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
-----	---



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 2 月 7 日

要請番号(SL 106 - 08 - D - 06)

調査者名: 藤木明代V調整員

国名	職種 / 指導科目 (コード 1903)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
フィジー	職種 農業生産技術	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 農業指導			2	21 / 2
	職種(英) Agricultural technology 指導科目(英) Agriculture Education Adviser			3	/

プログラム番号・名 1060000000004 プロジェクト名 地方・離島生計向上プログラム

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 農業、水産、林業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Fishery and Forestry
	2) 配属先名 (日本語) フィジー農業専門学校 (英語) Fiji College of Agriculture
	3) 任地 ナウンリ 首都(スバ)から 北東 方向 10 Km 主要都市(スバ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 首都郊外に設立された農業研究所を母体に、1962年に創立された伝統ある国立の全寮制農業専門学校。実習農場73haの他、酪農、養豚、養蜂、畜産の実習施設もある。南太平洋大学の外部機関としても機能し、熱帯農業の修了資格が取れる(3年間のコース)。年間予算は70万FD(約5,400万円)。外国人スタッフ(フィリピン人講師)を雇用しているが、外国の援助は受けていない。

要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 「熱帯農業」コースは、1年目にフィジー職業専門学校(FIT)で単位を修得し、2~3年目に同校でコースを完了するシステムになっているが、学位を取得するにはサモアにある南太平洋大学農学部に行く必要があるため、これだけの施設がありながら優秀な人材が育っていない。 現在の学校組織、運営、カリキュラムを専門的な見地から見直し、学長にアドバイスできる人材が求められている。また学長の構想である「農業を通じた持続可能な村落開発の中心施設として学校を機能させる」ためのノウハウについても、助言が求められている。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・学長のアドバイザーとして学校運営全体(組織、運営管理方法、カリキュラム等)を見直し助言する。 ・農業を通じた持続可能な村落開発のノウハウを指導する。 ・関係省庁や地方の農業普及センターと連携した研修などを企画・提案・実施する。 (例:地方の農業普及センター(リサーチセンター)と本学を結び、本学での農業普及員を対象とした短期研修やリサーチセンターでの村人対象の研修の企画など。)		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし。		

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学長(男性、49歳 熱帯農学修士、C/P)、講師8名(女性2男性6、30~40歳代、大卒)、実習助手1名(女性、30歳代)、司書2名(女性、30歳代)、作業員12名、事務職員6名	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)
---	-----------------------------------	---

資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	・学歴 大卒 農学	学歴理由: 配属先が示す条件	
	・経験 実務経験 15年以上	経験理由: 農業分野における幅広い経験が必要	
理由:			
理由:			

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地況	気候(熱帯海洋性) 気温(16-30℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)		水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 7 月 9 日

要請番号(SL 248 - 08 - D - 01)	調査者名: 佐藤 悦子
------------------------------	-------------

国名	職種 / 指導科目 (コード 1903)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ニカラ グ ア	職種 農業生産技術	○新規 ●交替 2 代目	●2 年 ○1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 農業指導			2	21 / 2
	職種(英) Agricultural technology 指導科目(英) Agricultural Engineer			3	/

プログラム番号・名 2480000000001 プロジェクト名 持続的農牧水産業生産技術支援プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 外務省 (受入機関名)(英語) Ministry of Foreign Affairs
	2) 配属先名 (日本語) エルプログレソン農業協同組合 (英語) Multisector-Cooperative El Progreso, R. L.
	3) 任地 エル・ピエホ市 首都(マナグア)から 北西 方向 148 Km 主要都市(マナグア市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 15年の歴史を持つ農業協同組合。現在組合員・準組合員あわせ400農家以上を数えるが、そのほとんどは5~10ha程度の農地を耕す中小規模・零細農家である。組合員の生活レベル向上をめざし、技術支援、農業関連資金低利貸し付け、共同集積、農産物流通促進などを行っている。農業技術庁(INTA)他から財政支援を受けている。2006年~SV活動中。JICAからは携行機材として刈取機、播種機を供与してきている。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 現在進行中のプロジェクト(~2012年)では約1,300農家、作付面積約3,500haを対象としており、そのうち75%を占める基本穀物(米、フリホーレス、とうもろこし)に対する栽培技術(乾燥調整、次期播種用の種子選定技術等)支援による生産性の向上が急務となっている。前任者は胡麻の栽培技術向上のための指導および輸出への支援を主軸としながら、特に5ha未満の零細農家に対し農業生産の多角化、果樹・野菜栽培による気象リスク(旱魃、大雨)の回避、市場アクセスの難しい農家に対し販売ルート確保支援を行ってきた。胡麻については引き続き品質の均一化と向上について継続指導が求められる。		
	2) 期待される具体的業務内容 1) 基本穀物(米、フリホーレス豆、とうもろこし)についての技術指導。2) 穀物収穫後の調整技術、特に次期播種用種子(種籾等)選定技術の普及。3) 播種前の調整技術(塩水選、温油消毒等)の技術指導。4) 4つのモデル圃場の立ち上げ、活性化支援。 上記活動は、組合技術者への研修等による指導と、農家巡回指導によって実施。 ※零細農家の脆弱性をカバーするためにドラゴンフルーツやパイナップルといった果実類による多角化支援も組合が取り組む重要な課題であり、ボランティアの経験や専門によっては同分野の支援、商品化知識・品質向上に関する助言もできればなお可。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 刈取機、播種機、トラクター、脱穀機、選別機等、天日乾燥施設(屋根なし)。その他コンプレッサー、溶接道具などあり。		

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 組合長、技術者18名、対象1,300農家			5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: D) ☑ スペイン語 (レベル: C)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由				
	・学歴 大卒		性別理由:		
	・経験 実務経験 10年以上		学歴理由: 同僚の学歴を考慮 経験理由: 業務遂行上必須 理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概 況	気候(熱帯) 気温(25~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
電 話	(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄 受験番号

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 20 年 6 月 14 日

要請番号(SL 303 - 08 - D - 03)

調査者名: 山本 パトリシア

国名	職種/指導科目 (コード 1903)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 農業生産技術	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 ランのバイオテクノロジー			2	21 / 2
	職種(英) Agricultural technology 指導科目(英) Biotechnology of Orchidaceae			3	/

プログラム番号・名 中小企業・地域経済活性化 プロジェクト名

1) 受入省庁名(日本語) 国立北東大学農学部
 (受入機関名)(英語) National University of Nordeste, Faculty of Agronomy

2) 配属先名 (日本語) 北東植物研究所
 (英語) Institute of Botanic of Nordeste

3) 任地 コリエンテス州コリエンテス市
 首都(フェリスアイレス市)から 北東 方向 940 Km
 主要都市(コリエンテス市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 北東植物学研究所は、1977年、国立北東大学と国立科学研究審議会との協定に基づき同大学の農学部内に設置され、分類学、遺伝学、植物解剖・生理学の研究室からなっている。同大学は当国北部において最も大きな植物学専門図書館と植物の乾燥標本を有している。研究者50人、研修員20人、技術スタッフ20人を擁し、2008年の活動予算は約6,000米ドルである。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 当国北東部は隣国ブラジル・パラグアイ南部と国境を接し、気候的には亜熱帯、温帯を併せ持つ、ランを含む多様な植物資源の宝庫である。当地の花弁業界におけるラン栽培は、統計にのらないほどの小規模栽培農家によって実施されており、古来からある伝統的な品種を栽培しているが、その収入は伸び悩み、当国南部との収入格差は拡大の一途を辿っている。このような小規模農家の自立発展を目指し、要請機関はより付加価値の高い新品種作りを求めて、同州の在来種を活用した新たなハイブリッド種の生産に向けた研究を積極的に実施しようと努力している。この研究推進のための人材育成を期待され、今回の要請となった。

2) 期待される具体的業務内容
 ①配属先の研究者、スタッフに対し、バイオテクノロジー(組織培養、冷蔵保存等)を用いたランの生産技術に関する研修を実施する
 ②生産者を対象にしたランの栽培管理に関する研修を実施する
 ③バイオテクノロジーを用いたラン栽培に必要な設備などについて助言する

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 バイオテクノロジーの研究を実施できる装置(クリーンベンチ、蒸留水製造装置、オートクレーブ、シェーカー、フリーザ、培養室、天秤、顕微鏡、実体顕微鏡、温室等)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 男女の農学技師。年齢30~50歳

5) 業務使用言語
 ● 英語 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: B)
 スペイン語 (レベル: C)

資格条件
 条件(資格、免許、性別)及びその理由
 性別理由:
 ・学歴 修士 農学 学歴理由: 研究機関のためCPのレベルが修士以上であるため
 ・経験 指導経験 10年以上 経験理由: 業務遂行上必要
 ・ バイテク実務経験 理由: 業務遂行上必要
 理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度
 有 無 車輦 単車 自転車

概地況 気候(亜熱帯) 気温(10~40 ℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 1 月 4 日

要請番号(SL 303 - 08 - D - 31)

調査者名: 山本 パトリシア

国名	職種 / 指導科目 (コード 1903)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 農業生産技術	●新規 ○交替 代目	○2年 ●1年 ○ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 植物病害の生物的防除			2	21 / 2
	職種(英) Agricultural technology 指導科目(英) Biological Control of Plant Diseases			3	/

プログラム番号・名 3030000000008
自然資源保護プログラム

プロジェクト名 植物病害の生物的防除

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 国立農牧技術院 - INTA (受入機関名)(英語) National Institute of Agricultural Technology	
	2) 配属先名 (日本語) 微生物農業動物学研究所 - IMZA (英語) Institute of Microbiology and Agriculture Zoology - INTA	
	3) 任地 ブエノスアイレス州カステラル市 首都(ブエノスアイレス市)から 北西 方向 30 Km 主要都市(ブエノスアイレス市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)	
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、環境或いは人間に損害を与えずに農業生産性を改善し、農作物及び環境の汚染を極力減少するために、農業病虫害駆除・消毒等に関する微生物その他の生物の研究を実施し、技術を開発している。我が国は、2001年から3年の間、技術協力により「土壌伝染性植物病害の生物的防除」のプロジェクトを実施した。(2007年度予算は23500ドル/2796千円)	
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) アルゼンチンにおいては、土壌中の病原菌による農作物の苗の立ち枯れ病が全国的に大発生しており、深刻な問題となっている。この対策のために使用されている土壌消毒剤プロモチル(臭化チル)は、人体の健康と環境に悪影響を及ぼす他、土壌中の微生物のバランスが崩れることにより持続的農業の妨げとなる可能性もある。このようなことから、当国国立農牧技術院(INTA)は、病害の代替防除策として微生物利用による防除を特に取上げて研究している。そのため、2001年から3年間の我が国の技術協力により「土壌伝染性植物病害の生物的防除」の協力が実施された。	
	2) 期待される具体的業務内容 - 菌類及び細菌類の分類に必要な化学的手法の技術指導 - 抽出した微生物の精製と特性に関する技術指導 - 微生物の評価試験の技術指導 - 微生物の同定技術	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 微生物学及び分子生物学実験に必要な資機材(クリーンベンチ、シェッカー、遠心機、冷凍庫、低温培養器、オートクレーブ等)	
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 生物学博士、女性1名、58歳 農学技師、男女2名、年齢は35-50歳	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ スペイン語 ()
資格条件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	・学歴 博士 農学	学歴理由: CPの学歴が博士であるため
	・経験 指導経験 15年以上	経験理由: CPの職歴が15年以上であるため
・病害の生物防除経験	理由: 業務上必要	
・微生物分類技術経験	理由: 業務上必要	
活動用交通手段の必要性		
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車	研修等	形態
現職教員特別参加制度		
概地況	気候(温帯性) 気温(10~35℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)		水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 年 月 日

要請番号(SL 006 - 08 - D - 04)

調査者名: 中原伸一郎 / 木川浩史

国名	職種 / 指導科目 (コード 1301)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
インドネ シア	職種 養蚕	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	21 / 1	年 月 から
	指導科目 養蚕			2	21 / 2	
	職種(英) Sericulture 指導科目(英) Sericulture			3	/	

プログラム番号・名 0060000000022 プロジェクト名
 東部インドネシア開発支援(南スラウェシ州地域開発)

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 林業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Forestry
	2) 配属先名 (日本語) 養蚕センター (英語) Sericulture Center
	3) 任地 南スラウェシ州マカッサル 首都(ジャカルタ)から 北東 方向 1300 Km 主要都市(マカッサル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当センターは主に次のような養蚕始業を展開している。①養蚕に関する開発計画 ②蚕(幼虫)の品質保証 ③害虫等への対応策の検討 ④蚕(卵)の認証 ⑤養蚕に関するマネージメント手法。情報の蓄積 ⑥製品(蚕)の開発と地域への分配。職員数は60名。予算(2007年度)は1.9万米ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 南スラウェシ州のシルク(繭、絹糸、絹布)生産高はインドネシアで最も多く、州政府が指定する特産品(10品目)にも含まれているが、絹織物の原料としての南スラウェシ産の絹糸は、その太さが均一でない等の理由で市場の評価が低い。この要因の一つとして、養蚕プロセスの第一段階、つまり蚕の卵の質が一定していないことが指摘されている。かかる状況下、この蚕卵の品質を一定に保つための技術支援の要請が、全国で唯一の養蚕研究所である当センターから上げられた。		
	2) 期待される具体的業務内容 ゴア県のピリピリ郡に位置する養蚕センター(BPA)において、蚕卵の品質管理を標準化するためのアドバイスをその職員に対して行うとともに、必要に応じて、同じく林業省の傘下にあるソッペン県(マカッサル市から車で北に4時間強)の蚕卵配給センターにて、蚕卵の配給に係る技術指導を、適宜行う。より具体的には、以下の活動が考えられる。 ①活動のアクション・プランを策定する。②アクション・プランに基づき、具体的な改善活動を行う。③特に、蚕の品種(F1)の更新について、また蚕卵の品質と生産性を向上させることについて、技術的視点からアドバイスを行う。④技術的な改善ポイントをまとめ、関係職員と情報共有を行う。⑤桑の品質及び生産性の向上についてアドバイスを行う。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 養蚕(卵から生糸まで)の製造過程に関連する各種普及所用機材や蚕種製造所用機材等 執務スペース、事務用品、電話、Fax		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性、センター長、50代 男性、養蚕技術開発部長、40代 その他養蚕技術開発部 4名	5) 業務使用言語 ● インドネシア語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	・学歴 大卒	学歴理由: インドネシア側からの要請であるため	
	・経験 実務経験 10年以上	経験理由: インドネシア側からの要望であるため	
	理由: 理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地況	気候(熱帯雨林) 気温(30℃位)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)
電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)		水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 1 月 30 日

要請番号(SL 303 - 08 - D - 18)

調査者名: 山本パトリシア

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼン チン	職種 農業土木 (コード 1201)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 農地保全管理			2	21 / 2
	職種(英) Agricultural Civil Engineering 指導科目(英) Agricultural Civil Engineering			3	/

プログラム番号・名 3030000000008 プロジェクト名 自然環境保全
 自然資源保護プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国立農牧技術院 (受入機関名)(英語) Nacional Institute of agricultural technology
	2) 配属先名 (日本語) コリエンテス農牧試験場 (英語) Agricultural Experiment Station of Corrientes
	3) 任地 コリエンテス市近郊 首都(プエルトアイレス)から 北東 方向 800 Km 主要都市(コリエンテス市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 国立農牧技術院は、天然資源と環境を保全しながら、地域の産業開発に関する農牧業の研究開発・人材育成活動と生産者への普及業務を実施している。そのうち、配属先であるコリエンテス試験場は地域の主な産業である畜産、稲作、林業及び植林に関する研究開発及び普及を行っている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 コリエンテス州は、面積約9百万ha、人口約100万人規模で、第一次産業が主体であり、天然草地での肉牛の放牧面積20万ha、松及びユーカリの造林面積31万ha、水田面積8万haなどがその主な内訳となっている。特に、脆弱な生態系である湿地帯は州の総面積の26%を占めており、農業と林業の増加によって徐々に天然資源が破壊されつつある。その状況を食い止めるため、州政府は「天然資源の持続的利用を考慮しながらの州内の効果的な土地利用」に関する方針を定めたとしており、その予備調査としての環境管理に関する様々な調査・評価・測定にSVの協力が求められている。

2) 期待される具体的業務内容
 - 農業活動による生物多様性へのインパクト評価を行う
 - 生物多様性の減少を表明するインディケータ種の選定と研究を行う
 - 破壊されつつある生態系または種の簡易型な評価手法の開発をする
 - 生物多様性の保全必要度合いに応じたゾーニングを行う。
 - 保護区と農用地のゾーニングを行う。
 - 配属先の環境分野の人材育成に貢献する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 土壌分析実験室(各種実験器具)、地理情報システム調査用機材、事務室(IT関係)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 大卒、修士号、土壌及び地理情報システム等を専門としている農学技師(30歳~50歳の男女)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ スペイン語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ スペイン語 (レベル: C)
--	--	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由
性別理由:
・学歴 修士 業務関連分野 学歴理由: 業務遂行上必要
・経験 実務経験 5年以上 経験理由: 業務遂行上必要
・農学技師 理由: 業務遂行上必要
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地況域	気候(亜熱帯) 気温(10~40℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
------	--



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 1 月 30 日

要請番号(SL 303 - 08 - D - 20)

調査者名: 山本パトリシア

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
アルゼンチン	職種 農業土木 (コード 1201)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 灌漑装置による水利用			1	21 / 1	年 月 から
	職種(英) Agricultural Civil Engineering			2	21 / 2	
指導科目(英) Agricultural Civil Engineering	3	/				

プログラム番号・名 3030000000005 プロジェクト名 地域経済活性化
地域経済活性化

1) 受入省庁名(日本語) 国立農牧技術院
(受入機関名)(英語) Nacional Institute of agricultural technology

2) 配属先名 (日本語) サン・ファン農業試験場
(英語) Agricultural Experiment Station of San Juan

3) 任地 サンファン州サン・ファン市
首都(プエ/スアイレス)から 北西 方向 1200 Km
主要都市(サン・ファン市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
天然資源と環境を保全しながら地域の産業開発に関する農牧業の研究開発・人材育成活動と共に、生産者への普及業務を実施している。サン・ファン試験場は地域の主な産業であるブドウ、オリーブ、野菜(ニンニク、玉ねぎ、トマト、メロン、ニンジン)栽培及び天然資源、灌漑、植物防除、農村開発及び農業経済に関する研究開発及び普及を行っている。気候は乾燥地帯で、年間降雨量は平均93mmである。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
州全体の農業可能面積は40万haで、10万haが栽培されている。主な作物はブドウが48%、オリーブ14%、野菜栽培11%、果樹が7%程度であり、全てが雪解けを利用した灌漑水である。しかし、不適切な水利用管理、排水施設の不整備、広範囲に土壌塩化が広がり、作物の収量が減量している。調査によると農家は不適切な灌漑の頻度、過量な灌水などにより、水資源の利用は50~60%程度の利用率に留まっている。限られた水資源を農業によって浪費していることから、生活用水、工業用水が不足している。加圧式灌漑システムの技術導入による持続的水資源の有効活用について知識を得る必要が高く、本要請となった。

2) 期待される具体的業務内容
-小農を対象にした点滴灌漑システムの設計に関与する。
-地域の主体作物の灌漑計画立案に関わる。
-受益者である小農も交えた参加型のワークショップ/セミナーに参加する。
-農場の従業員、生産者及び農業団体を対象にした効率的な水利用についての研修の設計に関わる。
-試験場と大学間にて開発した土壌の湿度観測センサーの設置に関わる。
-以上の活動を通し、人材育成に協力する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
土壌・水質分析実験室、加圧式灌漑装置、執務室の器具類等

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
灌漑専門技師、農学技師、普及員等(25歳~58歳の男性4名)

5) 業務使用言語
● スペイン語
()
○ ()

6) 選考指定言語
☑ 英語 (レベル: B)
☑ スペイン語 (レベル: C)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
学歴理由: 灌漑技術分野の知識が求められている。
経験理由:
理由:
理由:

・学歴 修士 農学
・ 点滴灌漑の設計・利用

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

概地況 気候(高温乾燥) 気温(平均21℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄
 受験番号

記入日:平成 20 年 1 月 4 日

調査者名:中原伸一郎/木川浩史

要請番号(SL 006 - 08 - D - 03)

国名	職種/指導科目 (コード 1202)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
インドネ シア	職種 農業機械	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 農業機械			2	21 / 2
	職種(英) Agricultural Machinery 指導科目(英) Agricultural Machinery			3	/

プログラム番号・名 0060000000022 プロジェクト名
 東部インドネシア開発支援(南スラウェシ州地域開発)

配属先概要

1) 受入省庁名(日本語) 内務省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Home Affairs

2) 配属先名 (日本語) タカラール県農業事務所
 (英語) Takalar Local Government, Division of Agriculture

3) 任地 南スラウェシ州タカラール
 首都(ジャカルタ)から 北東 方向 1300 Km
 主要都市(マカッサル)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 タカラール県農業局は、総務、食料・園芸、プランテーション、森林、畜産という5つの部署で構成されており、県内の農家に対して提供しているサービスの内容として①農林業に関する様々な研修の提供 ②農業生産に必要な経済インフラの整備 ③病害虫の予防、が主に挙げられる。同局の職員数は89名で、そのうち食料・園芸課には8名のスタッフが在籍している。予算は2007年度実績で6.8万米ドルが措置された。

要請概要

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 南スラウェシ州のとうもろこし年間生産量は、インドネシア国内でも五本の指に入る有数の生産地である。また、米については、とうもろこしほほ他地域と比較して優位性はないものの、収穫量ではそれを凌ぎ、将来の発展可能性を秘めている。同州内でもそうした農産物の産地であるタカラール県においては、モデル地域として他県をリードしていく役割が期待されている。しかしながら、県下の農民は、中央政府や地方政府の支援を通じて購入した農業機械、具体的にはトラクターや送水ポンプのメンテナンス技術が欠けているため、効率的な農業が行えていないという課題がある。そのため、こうした領域での技術向上に資するSV派遣の要請が上げられた。

2) 期待される具体的業務内容
 タカラール県農業局をベースに、県下の米・とうもろこし生産者グループを巡回訪問し、農業機械に関するメンテナンス講習会を行ったり、現場での具体的な保守管理方法を指導することで、農業生産を向上させていく。また、この成果を他の生産者グループに波及させていくことが求められている。なお、具体的な業務としては以下のようなものが考えられる。
 1. 県下の米・とうもろこし生産者グループを訪問し、モデルグループを特定する。
 2. 農業機械の保守管理のためのアクション・プランを策定し、実施する。
 3. 得られた成果を他の生産者グループに波及させる。
 5. 農業機械のメンテナンス標準化に関するマニュアルを作成する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 執務スペース、事務用品、電話、Fax等
 トラクター(クボタ及びヤンマー社製が中心)、送水ポンプ(ホンダ及びヤンマー社製が中心)など

要

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 女性、タカラール県農業局長 50歳代 男性、食料・園芸課長 40歳代 女性、食料・園芸課職員 40歳代 米・とうもろこし生産者グループ500名以上	5) 業務使用言語 ● インドネシア語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ (レベル:)
--	--	---

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:	
・学歴 大卒	学歴理由: インドネシア側からの要請であるため
・経験 実務経験 10年以上	経験理由: インドネシア側からの要請であるため
理由:	
理由:	

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

概地況

気候(熱帯雨林) 気温(30℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
 電話(□インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 20 年 6 月 16 日

要請番号(SL 048 - 08 - D - 01)

調査者名:柴崎 栄司

国名	職種 / 指導科目 (コード 1202)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ブータン	職種 農業機械	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	21 / 1	年 月 から
	指導科目 農業機械			2	21 / 2	
	職種(英) Agricultural Machinery 指導科目(英) Agricultural Machinery			3	/	

プログラム番号・名 048000000002 プロジェクト名
 農業機械化プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture
	2) 配属先名 (日本語) 農業機械化訓練センター (英語) Agriculture Machinery Training Center
	3) 任地 パロ 首都(ティンブー)から 西 方向 60 Km 主要都市(ティンブー)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 農業人口が減少傾向にあるなか、自給率の改善、換金作物の生産向上が開発課題となっている。効率的な農業技術開発・普及のため、農業機械の促進を目指して1983年に設立された。日本からの援助で供与される耕運機を一括して管理、農民に訓練を提供した上で安価に提供している。農業機械の輸入や、独自開発も行っている。予算は約130万USD/年。JICAの「農業機械強化プロジェクト」が08年6月より開始した。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 農業機械化センター管轄の農業機械化訓練センターでは、日本製耕運機のトレーニングを農民に提供している。2代に渡ってSVが派遣され、軌道に乗りつつあるが、質の観点から十分ではない。これまでは、SV自らが講師としてトレーニングに臨んでいたが、同僚スタッフの講義内容には改善の余地がある。故障・破損を未然に防ぐ使用方法、安全対策、メンテナンスの重要性を念頭においた指導が同僚スタッフで行えるよう、指導が期待される。 ※JICA専門家は農業機械化センターで農業機械化の促進を総合的に行い、SVは農業機械の訓練の充実を担当する。情報共有のような緩やかな連携が期待される。
	2) 期待される具体的業務内容 ・現存のカリキュラムやテキストブックの改善を行う(受講生は、農民や地方の農業機械化センタースタッフなど、コースによって異なっている。受講生のレベル・目的に沿った開発が求められる) ・新しいカリキュラム・テキストブックに沿った指導が行えるよう、同僚スタッフを支援する(ボランティア本人の講師としての役割は期待されていない)。 ・12~2月に実施される、移動メンテナンスキャラバンに参加、協力を行う。 ・同僚スタッフの農業機械に関するスキル向上のために、アドバイスを提供する ※配属先スタッフとの相乗りにより配属先への通勤は可能だが、利便性を求めるならば自家用車があると良い。

要	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 指導対象農業機械: 耕運機Kubota K120 その他、日本製田植え機、インド製トラクターなど。 配属先には、修理に関連する基本的な工具や、工作機械が揃っている。
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 講師: 男性2名 40歳代(経験25年、18年) 支援スタッフ 数名(経験は幅がある) トレーニング受講生: 農民、地域農業機械化センタースタッフ

5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)
-----------------------------------	---

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由
	性別理由:
	学歴理由:
	経験理由: 修理・管理の幅広い経験が必須 理由: 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			

概 地 況 域	気候(温暖(冬は寒冷)) 気温(-5 ~ 30℃位) 電気(☐安定 ☑不安定 ☐なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 ☐不良 ☐なし) 水道(☑安定 ☐不安定 ☐なし)
------------------	--



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 6 月 14 日

要請番号(SL 324 - 08 - D - 03)	調査者名: 松本博富
------------------------------	------------

国名	職種 / 指導科目 (コード 1202)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
パラグアイ	職種 農業機械	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1	年 月 から
	指導科目 農業機械			2	21 / 2	
	職種(英) Agricultural Machinery 指導科目(英) Agricultural Machinery			3	/	

プログラム番号・名 1120000000009	プロジェクト名 産業振興
-------------------------	--------------

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Livestock
	2) 配属先名 (日本語) カアクベ農業機械学校 (英語) Caacupe Agriculture Machinery School
	3) 任地 コルディジェラ県カアクペ市 首都(アスンシオン市)から 東 方向 48 Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) カアクベ農業機械学校は1972年に設立された農牧省農業教育局管轄の学校で、エンジン科、金属加工科、農業機械試作科があり、教育年限は3年間、生徒数は近年の入学希望者の増加により、1学年100名を超えている。これまでの卒業生は約800名で主な就職先は自動車整備工場、農業機械販売整備会社等である。年間予算は、240千ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 本校にはこれまで、3名のSVが派遣されており、このうち2004年から1年間、農業機械試作科でSVが活動を行った。JICAはこれまでに約60千ドルの機材供与を実施し、4名のSVを派遣してきた。このうち1名は、2004年から1年間、農業機械試作科について技術指導を行ったが、指導期間が短く十分な成果を挙げるに至らず、新たな技術指導が求められることとなった。一方、パラグアイ国の農業分野は大豆や小麦などの大規模農業の拡充に伴い、機械製作者やメンテナンスに係る技術者の育成が求められており、高い就職率を上げている当学校には毎年定員を大幅に上回る入学希望者がおり、技術指導の意義は大きい。	
	2) 期待される具体的業務内容 1. 一般農業機械の取り扱い、整備点検などの指導方法について助言を行う。 2. 農業機械試作に係る工作機械の操作はじめ溶接技術などの指導方法についての助言を行う。 3. 小規模農業に利用可能な農業機械の試作や整備点検技術を指導する。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 施肥・播種機ユニット(目皿回転式、ロール回転式)、油圧プレス、油圧ジャッキ、ガス式鉄板裁断機、グラインダー、インパクト・レンチ、単層電気溶接機、その他加工工具一般	
4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学校長(男性、40歳代、農学部卒) 農業機械試作科主任教官(男性・50歳代、農学部卒)	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	・学歴 大卒 機械工学	学歴理由: 機械に関する学術的な知識が必要となる。
	・経歴 実務経験 10年以上	経歴理由: 農業機械に関する専門知識が必要となる
	理由:	
	理由:	

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地況	気候(亜熱帯) 気温(5~40 °C位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)



国名	職種/指導科目	区分	派遣希望期間	派遣希望時期	
インドネシア	職種 養蜂 (コード 1302)	(長期のみ)	● 2年	1	21 / 1
	指導科目 養蜂	○ 新規	○ 1年	2	21 / 2
	職種(英) Bee Keeping	○ 交替	○ ヶ月	3	/
	指導科目(英) Bee Keeping	代目			

プログラム番号・名 0060000000022 プロジェクト名 東部インドネシア開発支援(南スラウェシ州地域開発)

1) 受入省庁名(日本語) 内務省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Home Affairs

2) 配属先名 (日本語) マロス県林業事務所
 (英語) Maros Local Government, Division of Forestry

3) 任地 南スラウェシ州マロス
 首都(ジャカルタ)から 北東 方向 1300 Km
 主要都市(マカッサル)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.2 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 マロス県林業局森林保護課では、国からの補助金による事業として①県内の森林に関するリハビリテーション、②農地に活性化、独自予算による県内の林業関係の製品の技術支援、特に養蜂については養蜂業者の組織化と活動モニタリング・評価、研修を通じた技術支援、流通・加工に関するインフラ整備を行なっている。同課年間予算は3,200米ドル(2007年度実績)。県林業局の職員数は99名で、うち養蜂に携わる職員は11名。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 南スラウェシ州における養蜂は、産業規模としては大きくはないものの、初期投資への負担が少ないことから、地方の農民がサイドビジネスとして起こしやすく、過去三年間で急激に伸びてきた産業である。マロス県は、南スラウェシ州の中でも生産者グループが多く(六つ)、また養蜂のインキュベーターとして指定されている県である。しかし、現在の伝統的な養蜂の手法では一定の質をもつ蜂蜜の生産が困難であることが指摘されている。また、現場のニーズとしては、ロイヤルゼリー等の新製品開発、蜂の効果的な飼育手法の開発、天然蜂巢から人工蜂巢への移転手法など、養蜂に関する技術的な改善が求められている。

2) 期待される具体的業務内容
 マロス県林業局をベースに、県下の生産者グループを訪問し、養蜂に関する課題分析と、それを踏まえた改善のためのアクション・プランの策定、そして協力者とともにパイロット養蜂を行い、この成果を他の生産者グループに波及させていくことが求められている。具体的な業務としては以下のようものが考えられる。
 1. 生産品の質的改善のためのアクション・プランを策定する。
 2. 協力者とともにパイロット養蜂を行う。
 3. 2. の成果を他の生産者グループに波及させる。
 4. 養蜂の標準化に関するマニュアルを作成する。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 執務スペース、事務用品、電話、Fax等
 但し、養蜂作業に要するマスク、ジャケット、手袋、ブーツなどの基礎装備は予備がないため、自ら用意する必要がある。

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男性、マロス県林業局長、50歳代 男性、同局森林保護課長、40歳代 同課職員10名 マロス県養蜂生産グループ	5) 業務使用言語 ● インドネシア語 () ○ ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: C) <input type="checkbox"/> (レベル:)
--	--	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: インドネシア側からの要請であるため
 経験理由: インドネシア側からの要請であるため
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地況 気候(熱帯雨林) 気温(30℃位) 電気(□安定 不安定 □なし)
 電話(□インターネット可 通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 不安定 □なし)



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 8 月 4 日

要請番号(SL 033 - 08 - D - 05)

調査者名: 渡辺憲夫、古川寛

国名	職種 / 指導科目 (コード 1402)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
中華人民共和	職種 家畜飼育	<input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目	<input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月	1	21 / 1	年 月 から
	指導科目 乳牛飼育			2	21 / 2	
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英) Milkcow breeding			3	/	

プログラム番号・名 0330000000007 プロジェクト名
 両国民の直接交流支援

1) 受入省庁名(日本語) 黒龍江省科技厅
 (受入機関名)(英語) Heilongjiang Science and Technology Department

2) 配属先名 (日本語) 安達市先源郷友誼牧場
 (英語) Andashi xianyuanxiang youyi ranch

3) 任地 黒龍江省安達市
 首都(北京)から 北東 方向 1000 Km
 主要都市(ハルビン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 当牧場は1958年設立。乳牛の飼育、飼料生産、草地改良を主な事業としている。畜舎5棟を有し、乳牛数は410頭、そのうち牛乳の生産可能な乳牛は280頭。牛乳の年間生産量は6,100kg。なお、当牧場はJICA「中国黒竜江省酪農乳業発展」技術協力プロジェクト(2001年7月1日～2006年6月30日)のサイトの一つであった。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 2006年に終了したJICA「中国黒龍江省酪農乳業発展」プロジェクトでは、①サイトの牧場における飼料生産技術を確立する、②サイトの牧場における飼養管理技術を確立する、③乳製品製造技術を確立することを目標とする技術協力が行われ、プロジェクト終了時には目標が達成されたが、アルカリ土壌の改良、牧場の牛糞尿処理、乳業の繁殖障害についてプロジェクトの技術を十分に活かさずしておらずSVの派遣が要請された。付近一帯はアルカリ土壌で飼料生産の障害となっている。

2) 期待される具体的業務内容
 中国JICAボランティア活動は両国民の直接交流支援を目的としている。以下の業務を行ないつつ、日本と中国の交流の一助となることが求められている。
 1. 牧場スタッフの牛糞尿の処理関連技術向上支援
 2. 牧場スタッフの乳牛の繁殖障害への対応にかかる技術向上支援

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 TMR混合機8m3、乳牛用体重測定機、どうもろこし収穫機JD1780、草刈機JD702、トラック、トラクター

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 牧場スタッフは29名。学歴は高校卒から大学院卒までさまざま。年齢は20代～50代。

5) 業務使用言語
 中国語
 ()
 ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: D)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 業務を遂行するために必要
 経験理由: 業務を遂行するために必要
 理由:
 理由:

・学歴 大卒 畜産学
 ・経験 実務経験 15年以上

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度

有 無 車輦 単車 自転車

概地況 気候(亜寒帯) 気温(-27~31℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)

要請番号(SL 251 - 08- D - 07) 調査者名: 綿引純男調整員

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パナマ	職種 家畜飼育 (コード 1402) 指導科目 牛肉質改良	○新規 ●交替 2 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	職種(英) Animal Husbandry 指導科目(英) Improvement of Meat Quality and Productivity			1	21 / 1	年 月 から
				2	21 / 2	
	3	/				

プログラム番号・名 2510000000003 プロジェクト名
 地方貧困削減のための地域開発モデル・プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 農牧研究庁
 (受入機関名)(英語) Panamanian Institute of Agricultural Research (IDIAP)

2) 配属先名 (日本語) 農牧研究庁グアラカ実験所
 (英語) IDIAP - Gualaca Experimental Station

3) 任地 チリキ県グアラカ市
 首都(パナマ市)から 西 方向 400 Km
 主要都市(ダビッド市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 農牧研究庁(IDIAP)は農林水産業の生産量増加を目的に、調査・研究および生産者への指導を行う農牧省内の機関である。プログラム計画2005-2015では、食の安全性、農産物の競争力、持続的な農業、国家的農業技術力の強化を上位目標に取り組んでいる。2007年度の事業予算は、約240万米ドル。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 配属先では2005年1月から肉牛の肉質改善プロジェクトを開始し、飼料改良・人工授精等による取り組みを行っている。その一環として受精卵移植による根本的な品種改良も試みており、コスタリカの専門家による受精卵移植も実施しているが、パナマでは費用面の問題から設備設置が困難であり、受精卵移植の普及は進んでいない。従って、より多くの農家に普及が可能な人工授精及び飼養管理による牛肉質改良を目指す事となった。

2) 期待される具体的業務内容
 牛の改良には、長い年月が必要であるが、2006年9月に帰国した前任者の活動を踏まえ、以下の活動に従事する。
 ① 人工授精に関する一連の技術(手順・手技・管理)指導
 ② 人工授精・受精卵移植により誕生した子牛の飼育管理指導
 ③ 飼養管理、飼料改善等による、総合的な牛肉質改良指導

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 執務室、研究室内機材、実験農場

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 所長:30歳代(男性、農学士)
 実質的な牛肉質改良プロジェクト責任者は男性、米国大学修士、50歳代

5) 業務使用言語
 ● スペイン語
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: B)
 スペイン語 (レベル: C)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 配属先が研究機関であり、同僚が大卒のため
 経験理由:
 理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

概地 気候(熱帯) 気温(25~35)℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 況域 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 20 年 8 月 7 日

要請番号(SL 469 - 08 - D - 08)

調査者名: 北島 裕行

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
モロッコ	職種 家畜飼育 (コード 1402)	○新規 ●交替 3 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 営農管理			1	21 / 1	年 月 から
	職種(英) Animal Husbandry			2	21 / 2	
指導科目(英) Agriculture management	3	/				

プログラム番号・名 内陸部地域総合開発プログラム

プロジェクト名

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業・水産省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Maritime Fisheries
	2) 配属先名 (日本語) 農学研究センタータンジェ (英語) Regional Centre of Agronomic Research in Tanger
	3) 任地 タンジェ 首都(ラバト)から 北 方向 280 Km 主要都市(ラバト)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) モロッコ北部地域(リフ県)の山羊飼育に関する改良の研究と、地域の主要作物の生産性と競争力の向上の研究をする。 職員数は20名。予算は2005年から2008年までに194,000US\$/2,120万円の予算が計上されている。 2004年11月から2年間のSV派遣と2007年3月から10か月間、短期SVが派遣されていた。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 当該地域は農業生産力が低いため、多くの住民が貧困な生活を強いられている。山羊の飼育は重要な現金収入の手段であり、その生産性を高めることは、生産農家にとって重要な課題である。 SVは植生タイプごとの生産力を判定し適正な放牧方法の検討と利用野草地の質的・量的改良の可能性を調査した。一方で、現在マクロシードペレットの利用のために試験的にモロッコでの製造と利用試験に向けて取り組んでいる。継続して、適正な放牧地の管理方法の手段としての放牧地の一部利用を休止することによる既存利用植生の回復、牧草種子の播種による草地の生産性の向上の方法の紹介と、受益者への普及方法の構築が求められている。	
	2) 期待される具体的業務内容 ・各地域での放牧地利用コミュニティの分布地図の作成とその地区の具体的休養ゾーンの提示 ・牧草種子導入可能なゾーンの設定と行政側(農業事務所・森林水源事務所)との連携と折衝の支援 ・牧草種子の安定的な供給システムの構築支援 (行政組織・NGO・農民自身による牧草種子生産圃場の造成と品質管理・流通に関する活動) ・農家コミュニティをまとめるインセンティブとして人間の安全保障・草の根無償等の導入支援 (集乳施設の設置により既存のNGOの山羊乳酪農加工場への生産物の供給の可能性の調査と促進) ・自然植生の評価として既存利用植物の飼料価値の科学的評価のための分析の支援	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 研究用汎用機器	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 男・所長・50歳代 男・プロジェクト・コーディネータ・40歳代 男・同僚・40歳代	5) 業務使用言語 ● フランス語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ フランス語 (レベル: C)
---	--------------------------------------	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
学歴理由:
経歴理由:
理由:
理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地況	気候(半乾燥気候) 気温(5~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 7 月 1 日

要請番号(SL 024 - 08 - D - 26)

調査者名: 千葉 善一

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
ラオス	職種 獣医・衛生 (コード 1403)	●新規 ○交替 1 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 家畜疾病ウイルス			2	21 / 2
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英) Veterinary Virology			3	/
プログラム番号・名 食糧安全保障プログラム		プロジェクト名			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農林省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Forestry				
	2) 配属先名 (日本語) 国立家畜衛生センター (英語) National Animal Health Center				
	3) 任地 ビエンチャン市 首都(ビエンチャン市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ビエンチャン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は、農林省畜産水産局傘下で家畜試験所を含め5つの部門から構成されている。同試験所には、細菌、血清、ウイルス、寄生虫、病理の5班があり、中央レベルの疾病診断、及び試験所がある5県を支援する役割を担っている。また、公衆衛生の観点から市場で売買、レストランで供される食肉の安全確保の役割も担っている。なお、ラオスはJICA広域技プロ「家畜疾病防除計画地域協カプロジェクト」の対象国ともなっている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先は、外国ドナー等から機材、薬品等は供与されているが、それらを使用する技術がまだ十分ではない。このため、本センターにおいては、中央及び地方試験所のスタッフの診断、分析能力の向上を目的とし、疾病の診断、分析の正確性、及び迅速性に焦点を当てたトレーニングが計画されている。なお、当国においては獣医師の資格制度が無く(海外留学での資格取得者は存在する)、獣医師に必要な知識、技術を教育する体制は整っていない。このため、配属先スタッフの能力向上を支援する要請がなされた。				
	2) 期待される具体的業務内容 一番の目的は基本的な診断技術の向上となる。 1. 家畜試験所で、実践的なサンプル検査のトレーニングを通し、正確な診断技術を取得できるように指導する。 2. 細菌、人工授精に焦点を当て、診断、分析能力の向上を支援する。 3. 大腸菌、クロストリジウム菌、サルモネラ菌、ブルセラ症、パストツレラ症に関する診断技術を指導する。 4. 家畜試験所で疾病診断に必要なサンプル収集を支援する。 5. 県試験所スタッフの能力向上に関するトレーニング等を計画し、支援する。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 急速冷凍庫、CO2培養器、孵卵器、PCRシステム、ELISAシステム、加圧滅菌器、セーフティキャビネット、顕微鏡、他検査に必要な機材は設置されている。				
4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 総スタッフ数27名 管理2名、疾病予防3名、家畜疾病情報3名、診断14名、食肉検査2名(10年未満の経験者が半数を占める)		5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)	
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由				
	性別理由:				
	学歴理由:				
	経験理由: 経験の浅いスタッフを指導するため。 理由: 家畜疾病の分析を行なうため。 理由:				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
●有 ○無 ○車輦 ○単車 ●自転車					
概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(15~35℃位)		電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)		
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)					



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 6 月 30 日

要請番号(SL 045 - 08 - D - 03)

調査者名: 多賀谷 健司

国名	職種 / 指導科目 (コード 1403)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
モンゴル	職種 獣医・衛生	○新規 ●交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 家畜非感染症			2	21 / 2
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英) Veterinary non-infections disease			3	/

プログラム番号・名 0450000000006 プロジェクト名
牧地と農牧業再生プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 食料農牧省 (受入機関名)(英語) Ministry of Food and Agriculture
	2) 配属先名 (日本語) 獣医学研究所 (英語) Institute of Veterinary Medicine
	3) 任地 ウランバートル 首都(ウランバートル)から 北 方向 0 Km 主要都市(ウランバートル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 獣医研究所は、家畜感染症、非感染症、寄生虫病を研究し、その診断、予防、治療法を生み出し、家畜の健康のため、新治療薬の製造技術の改良、新技術の開発を行っている。1997年より5年間、家畜感染症診断技術向上を目指しJICA技術協力プロジェクトが行われ、その後2年間専門家が派遣されフォローアップもなされた。2006年から2年間、獣医師のボランティアが派遣され、地方への研修を行った。予算:40万米ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) この3月に帰国したシニアボランティアは家畜感染症診断を向上させ、現地職員研修を通して地方への診断技術の定着に貢献した。今回は家畜非感染症分野のボランティアの要請である。この研究所には薬理学、毒性学ラボがあり、薬草からの家畜用薬品の発見、毒草植物による家畜の病気について研究を行っている。最近、国民の健康面から、特に毒草や天然殺虫剤が含まれる家畜の材料、製品による中毒が食品の安全検査で問題となっている。このため、薬理学、毒性学に経験のあるボランティアが要請された。		
	2) 期待される具体的業務内容 家畜薬理学及び毒性学の分野で研究所職員と以下の項目につき共同研究をし、アドバイスをを行う。 ・家畜毒素診断及びその予防 ・家畜風土病診断及びその予防 ・家畜によく発生する無機栄養不足分の検査、調査とその診断・予防		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 Evaporator, Ultracentrifuge(12000rpm), Water distillatory, Autoclave, Incubator, Microscope等		

資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 研究所所長 男性-40代 同僚:4人(男性-3人 30-50代、女性-1人 40代)	5) 業務使用言語 ○ 英語 () ● モンゴル語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: A) □ (レベル:)
	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	学歴理由:		

経験 実務経験 3年以上	経験理由: 研究及び指導に必要
・ 家畜毒素病診断	理由: 研究及び指導に必要
・ 獣医師	理由: 研究及び指導に必要

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			
概地 気候(大陸性気候) 気温(+30~-30℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)		
概域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)		



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄 受験番号

記入日:平成 20 年 6 月 23 日

要請番号(SL 048 - 08 - D - 04)		調査者名: 柴崎 栄司			
国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
ブータン	職種 獣医・衛生 (コード 1403)	○新規 ●交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	
	指導科目 組織培養			1 21 / 1	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英) Tissue Culture			2 21 / 2	
プログラム番号・名 0489999999999 ブータン その他プログラム		プロジェクト名			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture				
	2) 配属先名 (日本語) 畜産局 国立動物衛生センター (英語) National Centre for Animal Health, Department of Livestock				
	3) 任地 ティンブー県サルベタン 首都(ティンブー)から 南 方向 10 Km 主要都市(ティンブー)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同配属先は、家畜の疾病対策の計画及び調整、疾病の検査、動物用ワクチンの製造、調達、配布、臨床サービス、疾病のサーベイランス等、動物に関する様々なサービスを提供している。研究室、疾病予防対策、疫学調査、臨床サービス、ワクチン製造の5つの部署に分かれている。EUやFAOから機材の供与を受けている。年間予算は約10万ドル。2009年1月まで、JOCV獣医師隊員が派遣されている。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 前任者は、ラボ内における作業の標準化として、試験の操作、機械・器具の維持管理の実施手順であるSOP(標準作業書)を作成した。また、ワクチン製造部においても、品質を安定させるため、チェックシートを導入し各工程での記録をつけ、責任者による確認のシステムを作った。また細胞培養の立ち上げをサポートした。次のステップとして、ウイルス性疾患の診断や細胞培養によるワクチン製造を計画している。配属先スタッフは、知識はあるが経験が不足しているため、今回の要請に至った。				
	2) 期待される具体的業務内容 ・細胞培養のサポートおよびウイルス性疾患の診断および細胞培養によるウイルス性ワクチン製造の助言・指導 ・ラボラトリー内のバイオセーフティー・品質管理等のマネージメント ・PCR等の遺伝子学的診断技術のサポート ・センター全体の管理・運営のサポート ・上記の業務手順が組織内に定着するよう支援を行う。				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 CO2インキュベーター、顕微鏡(倒立・蛍光)、バイオハザードベンチ、秤量器、吸光度計、オートクレーブ、乾熱滅菌機等の機器、フラスコ、ピペット、シリンダー、試験管等の器具、培地・試薬等等				
資 格 条 件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 獣医師6人(疫学・寄生虫・病理・公衆衛生・薬理のマスター所有者。全て男性30~50歳代) カウンターパートは、獣医師の男性で38歳、実務経験12年。現在はワクチン製造に従事。日本での研修経験あり。		5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: A) □ (レベル:)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: 指導のために必要 経験理由: ラボでの指導のために必須 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度	
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					
概地 況	気候(温暖(冬は寒冷)) 気温(-5 ~ 30℃位) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	電気(□安定 ☑不安定 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)		

要請番号 (SL 442 - 08 - D - 10) 調査者名: 島口 秀男

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
シリア	職種 獣医・衛生 (コード 1403)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 生化学			1	21 / 1	年 月 日
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene			2	21 / 2	
指導科目(英) Biochemistry	3	/	から			

プログラム番号・名 4420000000002 プロジェクト名 産業近代化のための人材育成

1) 受入省庁名(日本語) 高等教育省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Higher Education

2) 配属先名 (日本語) アル・バース大学獣医学部
 (英語) Faculty of Veterinary Medicine, Al-Baath University

3) 任地 ハマ
 首都(ダマスカス)から 北 方向 210 Km
 主要都市(ダマスカス)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 配属先はシリアで唯一の獣医師養成機関であり、当国の家畜衛生改善に寄与している。家畜疾病診断技術及び獣医学部学生実習の充実・改善を図るため、1999年度に無償資金協力により機材が供与された(約4億円)。さらに、2003年から2008年にかけてJICA技術協力プロジェクト「アル・バース大学獣医学教育強化計画」が実施され、教育の底上げが図られた。現在は、獣医ウイルス学のSVが1名派遣されている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 【グループ派遣】 生化学は獣医学に於ける重要な基礎学問分野として形成されている。当該分野の応用、特にその分析手法、例えば動物用医薬品や、ホルモン、様々な有害物質とその代謝物の分析・測定は公衆衛生上や家畜の健康そのものとも深く関わる問題を解決する手段として利用される。同学部には化学の青年海外協力隊員が1名過去に派遣され、原子吸光計やガスクロマトグラフィなどの基礎的操作について支援を行った経緯があるが、今後は基礎技術のみならず調査・研究の中でいかに位置づけ、活用していくかが課題となっている。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 残留薬品やホルモン物質、有害物質などの特定を行うために必要とされる基礎的技術について支援を行う。HPLC、原子吸光計、紫外線光度計といった機器の操作指導は必須である
 2. 本分野を研究する大学院生に対し支援を行う

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 HPLC、原子吸光計、紫外線光度計、ガスクロマトグラフィ

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 微生物学ラボ長、男性、PhD 他 講師・助手3名、大学院生	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)
--	-----------------------------------	---

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 博士 業務関連分野 大学での活動という性格上必要
 経験理由: 実務経験 15年以上

理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		P	

概地況域 気候(砂漠性気候) 気温(0-40℃位) 電気(□安定 ☑不安定 □なし)
 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 ☑不安定 □なし)



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄 受験番号

記入日:平成 20 年 8 月 3 日

要請番号(SL 442 - 08 - D - 15)

調査者名: 島口秀男

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
シリア	職種 獣医・衛生 (コード 1403)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 残留分析			1	21 / 1	年 月 から
	職種(英) Veterinary Medicine and Hygiene 指導科目(英) Residue Analysis			2	21 / 2	
		3	/			

プログラム番号・名 4420000000002 プロジェクト名 産業近代化のための人材育成

1) 受入省庁名(日本語) 農業農地改革省
 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Agrarian Reform

2) 配属先名 (日本語) 獣医薬品局
 (英語) Veterinary Drug Directorate

3) 任地 ダマスカス
 首都(ダマスカス)から 北 方向 0 Km
 主要都市(ダマスカス)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 同局は国内流通の動物薬品、ワクチンの品質管理及び製造、輸入許認可と獣医薬品に関する問題の総括、調査研究が業務である。品質管理部(ラボ)には、動物薬品品質管理課、ワクチン品質管理課、残留分析課があり、動物薬品品質管理が業務である。ラボには18名の獣医師と1名の薬剤師がいる。1995年、2000年に動物用医薬品品質改善とワクチン品質検査改善にJICAが専門家チームを派遣し、協力した。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 最近問題となっている畜産物への動物薬品、農薬、微量元素の残留分析を新たな業務とするため品質管理部(ラボ)に残留分析課が設置された。同課には、2名の獣医師と1名の薬剤師が配置されているが、薬品分析の基礎技術を有するものの、畜産物中の動物薬品、農薬、微量元素の残留分析の経験がない。このため残留分析に必要な実験室の設備、測定機器・器具について助言をし、また技術者と一緒に残留測定技術を実際にその機器の一連の操作を行いながら指導することができるとSVの要請が出された。現在、動物薬品、ワクチン品質管理のSVが派遣(2007. 3-2009.3末まで)されている。

2) 期待される具体的業務内容
 1. 畜産物中の動物薬品、農薬、微量元素の残留分析に必要な実験室の設備、器械・器具、実験室の整備について技術的助言・支援をする。
 2. 残留分析の一連の操作について技術的な助言・支援をする。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 HPLC、原子吸光計、紫外線光度計、ガスクロマトグラフィー、GC-MS、GCなど(SHIMAZUやJASCO製)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 残留分析課課長(獣医師で獣医学博士)他に獣医師1名、薬剤師1名(いずれも男性、40歳前後)、薬剤師分析の基礎技術・知識はある。英語での業務に支障はない。

5) 業務使用言語
 ● 英語 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: B)
 (レベル:)

資格条件

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 高度な薬学又は獣医学知識が必要のため
 経験理由: 実務的な分析技術指導をするため

理由:
 理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

概地域 気候(砂漠性気候) 気温(0-40℃位) 電気(□安定 不安定 □なし)
 況域 電話(インターネット可 通話可 □不良 □なし) 水道(□安定 不安定 □なし)



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 7 月 9 日

要請番号(SL 251 - 08 - D - 08)

調査者名: 綿引純男調整員

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
パナマ	職種 森林経営 (コード 1701)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1	19 年 4 月 から
	指導科目 森林資源活用			2	21 / 2	
	職種(英) Forestry 指導科目(英) Utilization of Forest Resources			3	/	

プログラム番号・名 251000000003 プロジェクト名
地方貧困削減のための地域開発モデル・プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 環境庁 (受入機関名)(英語) Autoridad Nacional de Ambiente (ANAM)
	2) 配属先名 (日本語) 持続的環境開発センター (英語) Environmental Sustainable Development Center (CEDESAM)
	3) 任地 コクレ県リオ・アト市 首都(パナマ市)から 西 方向 123 Km 主要都市(ペノメ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 環境庁はパナマ国内全域で、地方部の自然環境保全から都市部の環境管理まで、全てを管理する行政機関である。CEDESAMはこの中で森林保護・保全部門での調査・研究及びこれに係る人材育成等を実施する機関である。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) CEDESAM事務所及び周辺地域は約7,000ヘクタールの旧米軍及びパナマ軍の訓練場であったが、約20年前より環境庁の管理下におかれ、国内最大級の植林試験場として運営されている。敷地内には試験場開始時から複数種の植林が実施されており、この成長に伴った間伐材が発生しているが、この有効利用に必要な豊富な知識・経験を持った人材が不足しているため本案件が要請された。なお、同試験場には約10年前にJICA専門家による技術協力プロジェクトが実施され、一定の植林指導が行われている。また、配属先は国内複数地域にも対象植林地帯を所有している。		
	2) 期待される具体的業務内容 ・対象地区で植林されている植林地の管理・有効利用に関する調査・助言。 ・今後発生する間伐材の利用に関する一連の技術的助言(木材加工に適した間伐材の取扱等) ・今後の活用を考慮した植林用品種選定に係る調査・指導 現在、植林されている品種は杉・松類及びチーク材である。なお、場合によっては民間の加工業者も指導対象者に含まれる。		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 小型製材機: KAKUBIKIKUN510GK、執務室、執務机など		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル センター長: 男性(農学士、40歳代) 同僚: 男性(高卒、50歳代)	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) ☑ スペイン語 (レベル: C)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	性別理由:	
	・学歴 大卒	学歴理由: 伐採計画作成のための知識が必要のため
		経験理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地況域	気候(熱帯) 気温(25~35) °C位	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)

要請番号(SL 239 - 08 - D - 12)		調査者名: 岡部朋洋		
国名	職種/指導科目	区分	派遣希望期間	派遣希望時期
ホンジュラス	職種 植林 (コード 1702) 指導科目 植林	(長期のみ)	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV 日系/短期等
	職種(英) Afforestation 指導科目(英) Afforestation	● 新規 ○ 交替 代目	1 21 / 1 2 21 / 2 3 /	年 月 日 から
プログラム番号・名 2390000000006 中小・零細産業支援プログラム		プロジェクト名		
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 農牧省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture and Livestock			
	2) 配属先名 (日本語) 森林科学大学校 (英語) National School of Forest Sciences			
	3) 任地 コマヤグア県シグアテペケ市 首都(テグシガルパ市)から 北東 方向 150 Km 主要都市(テグシガルパ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 森林経営・植林・環境科学に関する国内唯一の専門大学校。1969年に森林の保全と持続的利用を目的に設立された。松を主要木とする演習林を複数持つほか、熱帯植物園としては世界第2位の広さを持つランセティージャ植物園は同校の付属植物園である。原種圃場は英オックスフォード大の技術支援で設立された。年間予算USD百万米ドル。農牧省から一部予算配賦があるが、残りは種子・苗木販売等の事業収入で賄っている。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 有用品種の選定と増殖については、同校はこれまで、同校演習林にて個体選抜を行ない、選抜種子を増殖したり、接木によるクローン増殖等を行ってきたりしているが、今後、遺伝(・育種)学の観点からも研究を始めたい意向がある。まずは、同分野での研究の可能性につき検討するために、同分野の知識・経験のあるSVに対して要請があった。			
	2) 期待される具体的業務内容 1) 遺伝学研究の導入に関する検討(アドバイス、議論参加) 2) 一般的な植林分野(種子・育苗・植栽保育・病虫害)に関して、教授や生徒の研究活動に対しアドバイス			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 植林に関する機材一式(化学実験機材含む)、種子保存庫等			
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学長 男性 50歳代	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ スペイン語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ スペイン語 (レベル: C)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由			
資格条件	性別理由:			
	・学歴 大卒 林学		学歴理由:	
	・経験 実務経験 5年以上		経験理由:	
	・遺伝(育種)学の基礎知識		理由:	
理由:				
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車				
概地域	気候(温帯) 気温(15~30℃位) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	電気(☑安定 □不安定 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)	



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
--------	------

記入日:平成 20 年 7 月 9 日

要請番号(SL 136 - 08 - D - 12)	調査者名: 大町 敏行
------------------------------	-------------

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
バヌアツ	職種 漁業共同組合 (コード 1502) 指導科目 漁協組合運営指導	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	職種(英) Fishermen's Co-operatives 指導科目(英) management adviser			2	21 / 2
	3			/	

プログラム番号・名 1360000000008 プロジェクト名 沿岸資源管理プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 内務省
(受入機関名)(英語) Ministry of internal affair

2) 配属先名 (日本語) シェファ州政府事務所
(英語) Shefa provincial office

3) 任地 シェファ州エファテ島ポートビラ市
首都(ポートビラ市)から 北 方向 0 Km
主要都市(ポートビラ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
州政府事務所に所属し、州内に42ある漁協グループを統括するシェファ州漁業協同組合の組織運営の支援を通して地域内の水産業の発展を支援する。州政府事務所のスタッフは53名。年間予算は1億1千万円程度。州政府事務所に漁協組合長の執務室がある。漁協組合員数は1300名程で組合活動による年間収入は25万円程度である。同漁協組合にはアメリカンピースコーボランティア1名が総務会計の分野で支援を行っている。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
当国の水産に対する支援は水産局にてJICA技術協力プロジェクト「豊かな前浜プロジェクト」を実施している他、マランパ州、タフェア州の地方水産局事務所にJOCVを派遣している。本要請は当国最大の漁業協同組合への支援であるが、今までボランティアを派遣した実績はない。国内最大の市場であるポートビラも水産市場があまり発達していない状況であり、水産物の流通はごく限られている。持続的な管理漁業の確立と流通市場の強化など水産業を通じた産業発展が望まれているなか、シェファ州漁業協同組合に対する組織強化、活動への支援は環境及び産業振興の両分野に対する効果的な協力が得られるものと期待されている。

2) 期待される具体的業務内容
1. 水産物販売市場拡大に関する助言及び協力。
2. 漁業協同組合の経営指導。
3. 漁業者を対象とする研修やセミナーを通じた技術指導に関する助言及び技術情報の提供。
4. 水産局、民間販売業者及びその他の関連機関との連携や調整。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
船外機付き小型ボート(7m)、カヌー、州政府事務所所有の公用車(運転は州政府スタッフが行う)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 漁業組合長(主カウンターパート、男性、50歳代) 州政府事務所プランニングオフィサー(男性、30歳代) 漁業組合主要組合員12名程度(男性、30~50歳代)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ その他 (ビシュラマ)	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ (レベル:)
--	--	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

・性別 男性	性別理由: 夜道等土着文化が根強く残る地域に立入るため。
・経歴 実務経験 5年以上	学歴理由: 経歴理由: 漁業従事者への指導的立場としての役割が必要
	理由: 理由:

活動用交通手段の必要性

○有 ●無 ○車輜 ○単車 ○自転車

研修等	形態	現職教員特別参加制度
-----	----	------------

概地況 気候(亜熱帯) 気温(15~35℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)
 短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄	受験番号
グループ派遣	

記入日:平成 20 年 7 月 7 日

要請番号(SL 251 - 08 - D - 01)

調査者名: 綿引純男調整員

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
パナマ	職種 水産資源管理 (コード 1801)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	21 / 1	年 月 から
	指導科目 水産海洋学			2	21 / 2	
	職種(英) Fishery Resource Management 指導科目(英) Fishery Oceanography			3	/	

プログラム番号・名 2510000000002 プロジェクト名 海事大学人材育成プロジェクト
 経済社会の持続的成長のための人材育成プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) パナマ国際海事大学 (受入機関名)(英語) International Maritime University of Panama
	2) 配属先名 (日本語) パナマ国際海事大学 (英語) International Maritime University of Panama
	3) 任地 パナマ市 首都(パナマ市)から 南西 方向 0 Km 主要都市(パナマ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は2005年12月より、旧パナマ航海学校を母体に、新規に開設された国立大学である。2007年から航海学部、海洋学部、海運学部、水産研究所の一般教養課程が開設され、2008年から専門課程が開始された。外国民間海運会社からの援助も多く、約1年半前に中国海運会社COSCOから機関訓練用シミュレーション設備の供与があった。2008年度予算US\$660万ドル。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) <グループ派遣>パナマ国際海事大学の前身であるパナマ航海学校には、93年~00年にかけてJICAによる技術協力プロジェクト「航海学校強化」が実施され、技術面・機材面での協力が実施済。その後は、JICAボランティア(航海科、機関科)による技術支援が続けられ、現在は、3名のシニア海外ボランティア(海運行政・船舶無線・渉外促進)が活動中。本要請は、海洋学部の強化のため、そこに所属する教官と学生に対する総合的な教育支援を行うものである。特に、海洋生物学と海洋環境学に対する支援が求められている。		
	2) 期待される具体的業務内容 パナマ国際海事大学は2006年1月に運営が開始されたものの、前身のパナマ航海学校で実施されていた航海科と機関科以外は新設され、専門課程は2008年より開設された。 その中で、本要請では、以下が求められている。 ① 2008年に開設された海洋学部の専門課程における、教官・学生に対する支援 ② 海事大学学生、及び海洋関係者に対する講義あるいはセミナーの実施 ③ 海洋生物学及び海洋環境学に対する助言		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ボランティア事務室(パソコン、OA機器等)		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スーパーバイザー: 修士課程・研究担当副学長、40歳代 カウンターパート: 海洋生物学教授、男性1名、20歳代他、数名の同学部教授と業務を進める。	5) 業務使用言語 ○ 英語 () ● スペイン語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) ☑ スペイン語 (レベル: C)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	・学歴 大卒 業務関連分野 学歴理由: 大学教官と学生対象に活動する		
	経歴理由:		
	理由:		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車		P	

概地 況域	気候(熱帯) 気温(25~35) °C位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 6 月 19 日

調査者名: 山本 パトリシア

要請番号(SL 303 - 08 - D - 06)

国名	職種/指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
アルゼン チン	職種 水産資源管理 (コード 1801)	●新規 ○交替 代目	○2年 ●1年 ○ヶ月	JOCV/SV		
	指導科目 水域資源環境評価			1	21 / 1	日系/短期等 年 月 から
	職種(英) Fishery Resource Management			2	21 / 2	
指導科目(英) Evaluation of Aquatic Environment	3	/				

プログラム番号・名 3030000000008 プロジェクト名
 自然資源保護プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) ネウケン州環境庁 (受入機関名)(英語) Undersecretary of Environment of Province of Neuquen
	2) 配属先名 (日本語) 水生生物センター (英語) Aquatic Biology Center
	3) 任地 サン・マルティン・デ・ロス・アンデス市 首都(ブエノスアイレス)から 南西 方向 1500 Km 主要都市(ネウケン市(州都))までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は当国南部パタゴニア地域のラン国立公園内にある。サケマス類産卵期の密漁・ラカル湖の水質汚染によるサケマス類資源の減少を危惧し、2000年に近隣市のサン・マルティン・デ・ロス・アンデス市に水車式の捕獲装置を設置、水車式サケマス類捕獲センターとして、ラカル湖の資源回復及び環境教育を実施している。同地域のサケマス養殖では、1988～1996年に亘ってJICA技術協力を実施した。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 人口約3万人のサン・マルティン・デ・ロス・アンデス市はアンデス山脈の麓に位置し、主要産業は冬季にはスキー、夏季にはスポーツフィッシングといった観光業である。その観光の目玉であるラカル湖(5,200ha)は密漁並びに富栄養化・汚水の流入により水質が悪化し、資源が減少してきたことから、人工孵化を行うための親魚(サケマス)の捕獲装置を設置した。年間約1400尾の親魚から人工採卵し、孵化後、50万尾の稚魚を放流している。ラカル湖の魚類相の資源評価をもとに資源管理計画を立てることが急務となっているが、資源調査を実施するための適切な技術が確立されていないことから、本要請があげられた。		
	2) 期待される具体的業務内容 ①湖沼の水質調査・評価 ②魚類の生物特性調査 ③天然餌料の調査 ④水底生物(ベントス)活用評価(構成及びバイオマス等)		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ゴムボート、天秤、酸素計、DOメーター、等		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル スタッフ 男女3名、30～50歳代、大学卒(養殖学、生物学、農学士)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由	
	・学歴 大卒 環境科学	性別理由:
	・経験 実務経験 10年以上	学歴理由:
	・生物学者、陸水学者	経験理由:
		理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地 況域	気候(寒冷) 気温(0℃～25℃) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
----------	--	--



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 1 月 4 日

要請番号(SL 018 - 08 - D - 21)

調査者名: 坂下英喜

国名	職種 / 指導科目 (コード 1802)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
タイ	職種 漁業生産	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 水産教育アドバイザー			2	21 / 2
	職種(英) Fishery Production 指導科目(英) Adviser for fishery Science			3	/

プログラム番号・名: 科学技術振興プログラム
 プロジェクト名:

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 教育省 (受入機関名)(英語) Ministry of Education
	2) 配属先名 (日本語) キングモンクット工科大学 ラートクラバン校 水産学科 (英語) King Mongkut's Institute of Technology, Ladkrabang Fisheries Science
	3) 任地 ラートクラバン 首都(バンコク)から 東 方向 25 Km 主要都市(バンコク)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 当大学は、メインキャンパスとチュンポン校に水産科学のコースを設置している。当大学は、水質汚染やサンゴ礁破壊などタイや近隣諸国共通の環境問題の解決や水産科学の質的向上のため、共同研究や留学生の交換を行っている。2002年から2004年までSVが派遣され、創生期のチュンポンキャンパスで指導を行った。

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 水産科学は、世界的な人口増加や川、海洋の水質汚濁等の問題の対応など多くの課題を抱えている。当大学はこれまで近隣諸国との共同研究や留学生の受入を積極的に図り、広い視点で研究に取り組んでいる。しかし、この分野での研究の歴史が浅いことや研究者の数も限られていることから、水産学科全体の活動の助言を行うアドバイザーを必要としている。 日本は世界的な水産国であり、長年の取り組みや経験がある。これまで積み上げた永年の経験や知識をぜひタイの関係者に伝えたい。		
	2) 期待される具体的業務内容 SVに期待される業務は、以下の通りである。 1. 水産学科の「今日的課題に対応できる」カリキュラムの作成についての助言 2. 近隣諸国との研究協力体制の構築についての助言 3. 外国からの留学生や研究者の交流計画についての助言		
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 オフィスでの活動が中心となる。活動に必要なPCなど基本的なものは揃っている。		
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 主な指導対象: 30代前半 男性 専門的知識高し(博士) 30代前半 女性 専門的知識高し 40代後半 男性 副学部長(博士)	5) 業務使用言語 ● タイ語 () ○ 英語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
	性別理由:		
	学歴理由:		
	・ 経験 実務経験 5年以上	経験理由: 実践的な助言が必要	
・ 修士(水産学系)	理由: 高度な知識が必要		
・ 大学等の教職経験	理由: 実践的な助言が必要		

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			

概地況城	気候(熱帯モンスーン) 気温(22-38℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)
電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)	

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 19 年 12 月 28 日

要請番号(SL 106 - 08 - D - 04)

調査者名: 藤木明代V調整員

国名	職種 / 指導科目 (コード 1803)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
フィジー	職種 養殖	○ 新規 ● 交替 2 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 養殖			2	21 / 2
	職種(英) Fish Culture			3	/
	指導科目(英) Fish Culture				年 月 から

プログラム番号・名 1060000000003 プロジェクト名
 水産資源利活用プログラム

1) 受入省庁名(日本語) 教育、文化、青年、スポーツ省
 (受入機関名)(英語) Min.of Education,National heritage,Culture and Arts,Youth and Sports

2) 配属先名 (日本語) 南太平洋大学、島嶼海洋学部 海洋学科
 (英語) School of Marine Studies Faculty Of Islands and Ocean,USP

3) 任地 スバ
 首都(スバ)から 南西 方向 7 Km
 主要都市(スバ中心地)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 南太平洋域内の12か国により1969年に設立された総合大学。海洋学科では水産加工、養殖、資源管理、海洋生物など水産、海洋全般に関する教育、研究を実施。施設は水産無償資金協力により建設、沿岸資源管理JICA専門家、水産加工SV、養殖SVが派遣された。ニュージーランド人養殖講師が1名いる。予算は講師給与と施設維持費に当てられ、研究開発費はテナガエビ種苗生産を民間から受託し(約350万円)充当している。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 南太平洋諸国は養殖の振興を切望しているが、小国が多く研究開発は遅れている。海洋学科は、域内の水産分野の人材育成のみならず、研究開発の中心的機関として位置づけられており、留学生も多い。しかし、同科では、魚類、エビ類の種苗生産技術を十分に指導できる人材が不足しているため、本要請に至った。なお、現在活動中のSVIによって、MicroAlgaeと地元産のワムシの大量生産技術が確立されたため、海産生物の種苗技術移転が期待できる。

2) 期待される具体的業務内容

- ・有用海産生物(親魚、甲殻類等)の種苗生産に関する研究、研修及び生産の支援を行う。
- ・講師及び技術者に対し、海産魚類、甲殻類の種苗生産技術を指導する。
- ・海水養殖実験施設の維持管理計画の立案支援及び管理能力の強化支援を行う。
- ・学生及び研究生に対し、海産魚類・甲殻類の飼育及び種苗生産に関する講義、実習指導を行う。
- ・海洋学科が検討している屋外養殖施設設計画の立案に関するアドバイス、協力を行う。
- ・村落における生計向上のための養殖技術の開発と普及を行う。

日本の生産現場での経験を踏まえ、環境に配慮した技術が求められている。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 水中ポンプ5.5kw2機、圧力式砂ろ過器1000L、紫外線滅菌装置0.44kW、プロロー2機、FRP飼育水槽15個、海水貯水タンク4個、海水循環式用タンク6個、藻類培養室2.4m×2

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル シニア講師1名(ニュージーランド人、男性、博士、40歳代) 技術者2名(男性、大卒、20歳代)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 <input checked="" type="checkbox"/> 英語 (レベル: B) <input type="checkbox"/> (レベル:)
---	-----------------------------------	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:	
学歴理由:	
・経験 実務経験 10年以上	経験理由: 実践的な技術が求められている。
・(エビ、カニ、ナマコ、真珠貝、ワムシ等)	理由:
	理由:

活動用交通手段の必要性	研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輛 ○単車 ○自転車			

概地況域	気候(熱帯海洋性気候) 気温(15-35℃位) 電気(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)
	電話(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 通話可 <input type="checkbox"/> 不良 <input type="checkbox"/> なし) 水道(<input checked="" type="checkbox"/> 安定 <input type="checkbox"/> 不安定 <input type="checkbox"/> なし)



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)

短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 7 月 10 日

要請番号(SL 130 - 08 - D - 11)

調査者名: 中村範之、松井信晃

国名	職種 / 指導科目 (コード 1803)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
トンガ	職種 養殖	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 沿岸資源増養殖			2	21 / 2
	職種(英) Fish Culture 指導科目(英) Seed Production / Seed Enhancement			3	/
プログラム番号・名 経済開発プログラム		プロジェクト名			
配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 農業食料水産森林省 (受入機関名)(英語) Ministry of Agriculture, Food, Fisheries and Forestry				
	2) 配属先名 (日本語) 水産局本部 (英語) Headquarters, Departments of Fisheries				
	3) 任地 スクアロファ 首都(スクアロファ)から 北 方向 0 Km 主要都市(スクアロファ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先は水産資源管理、鮮魚市場運営、漁民支援等を主な業務とする。91~98年JICA技術協カプロジェクト「水産増養殖開発計画」で、主に貝類(シャコ貝、タカセ貝、ヤコウ貝)養殖技術の定着とコミュニティへの供与や放流事業が行われた。その後、オーストラリアの支援で水産局本部棟が改築され、法整備やコミュニティによる資源管理支援が実施された。受入省庁の年間予算は約6億円で、そのうち水産局分は約6千万円。				
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 過去20年間に漁法の進化や市場経済の発展により、シャコ貝、ボラ、エビなどの主要沿岸資源の枯渇が問題となっており、乱獲を防ぐためのナマコ漁獲禁止措置は現在も継続中。スナッパーなどの近海物の漁獲も持続可能水準をかるうじて維持している状況である。そのため、近年、沿岸資源増養殖が注目され、餌料用プランクトン養殖施設建設予算も08/09年で手当てされた。豪州の支援で端緒についたコミュニティ資源管理普及を促進しつつ、真珠貝、ナマコ、ウニ、アカガイなど現地の食糧安全保障と持続的な水産開発を実現するため、資源養殖の知見を有するボランティアの要請が出された。				
	2) 期待される具体的業務内容 1. 真珠貝、ナマコ、ウニ、アカガイなどの種苗生産技術の確立支援 2. 商業的価値の高い魚の中間養殖技術開発支援 3. 放流した沿岸資源のモニタリング				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 貝類養殖施設、ボート、小型GPS装置				
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 大卒数名、その他は専門学校卒レベル。20-50代。多くは過去、日本人専門家等との業務経験あり。また、日本での研修参加者も少なくない。		5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()		6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ (レベル:)
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由				
	性別理由: 学歴理由: 経験理由: 実践的技術を必要とするため 理由: 理由:				
	・経験 実務経験 10年以上				
活動用交通手段の必要性			研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車					
概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(15~30℃位)		電気(□安定 ☑不安定 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)	
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)				



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(JV 日青 SV 日SV)

短期(JV_A JV_B SV_A SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 1 月 30 日

要請番号 (SL 303 - 08 - D - 16)		調査者名: 山本パトリシア			
国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
アルゼンチン	職種 養殖 (コード 1803) 指導科目 海水魚養殖(貝類)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等
	職種(英) Fish Culture 指導科目(英) Fish Culture(shellfish)			1 21 / 1	2 21 / 2
プログラム番号・名 3030000000005 地域経済活性化		プロジェクト名 小規模農家支援			
配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) 国立パタゴニア大学 (受入機関名)(英語) Patagonia national university				
	2) 配属先名 (日本語) 国立パタゴニア大学 (英語) Patagonia national university				
	3) 任地 チュブツ州コモドロ・リバダビア市 首都(ブエノスアイレス)から 南 方向 1720 Km 主要都市(ラウン市(州都))までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間)				
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 配属先はパタゴニア地域の社会経済開発に向けた高等教育機関として、人材養成、研究及び普及を行なうとともに、産業界への指導業務も実施している。当該分野は大学の優先的な課題であり、年間予算は約6万ドル、既に貝類(ムール貝)の生物・生態的研究、海藻の生態研究などを実施している。				
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 配属先が位置するC.リバダビア市の人口は約22万人であり、主な産業は石油の抽出及びサン・ホルヘ湾での漁業(特にエビ、カニ、イカ、メルルーサ)である。漁業では、メルルーサ及びエビは天候、乱獲による資源の減少により捕獲量が安定していない状況である。近年では貝類(ムール貝)の海水養殖を5件の業者が5ha程度の面積で生産を開始している。なお、貝類のみでなく輸出を目指した魚類(リング、ミナミアシナガダラ等)の生息地域であることから、資源の保全も考慮した養殖も可能である。しかし、本地域での新事業であるため、大学における海水養殖センター設計に関するノウハウも経験がないことから、本要請があげられた。				
	2) 期待される具体的業務内容 一 価値ある魚類の養殖に関連する知識移転 一 魚類設定によりパイロット的な養殖試験の計画立案 一 種苗生産技術の指導 一 生物餌料生産技術の指導 一 二枚貝の養殖方法(特につるし養殖)に関する指導 一 養殖技術の比較試験に関する指導				
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 ゴムボート等				
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 生物学者 男女4名、30~60歳代、大学卒(海洋学系)		5) 業務使用言語 ○ 英語 () ● スペイン語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: A) □ スペイン語 (レベル: B)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: 経験理由: 理由: 理由:				
活動用交通手段の必要性 ○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車			研修等	形態	現職教員特別参加制度
概況	気候(寒冷) 気温(0~25℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)		電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)		



平成 20 年度秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄 受験番号

記入日:平成 20 年 1 月 30 日

調査者名: 山本 パトリシア

要請番号(SL-303-08-D-19)

国名	職種 / 指導科目 (コード 1803)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼンチン	職種 養殖 指導科目 冷海水養殖	●新規 ○交替 代目	●2年 ○1年 ○ヶ月	1	21 / 1
	職種(英) Fish Culture 指導科目(英) Fish Culture			2	21 / 2
	3			/	

プログラム番号・名 3030000000005 プロジェクト名 地域経済活性化
 地域経済活性化

配属先概要	1) 受入省庁名(日本語) サンタ・クルス州経済省 (受入機関名)(英語) Ministry of Economy, Province of Santa Cruz			
	2) 配属先名 (日本語) 水産港湾庁 (英語) Agency of fishery harbors			
	3) 任地 リオ・ガジェゴス市(州都) 首都(ブエノスアイレス)から 南 方向 2600 Km 主要都市(ブエノスアイレス)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 3.5 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) サンタ・クルス州は最南端の州であり、900kmの沿海を有している。主な産業は水産であり、その内、クダヒゲエビ(Pleoticus muelleri)の2006年度の捕獲量は15千トンである。州政府は沿海の水産の多様化を図り、養殖業を主要な産業として取組むこととなった。水産港湾庁は水産資源の持続的な管理に要する調査研究及び政策を実施する機関であり、海水及び内水面における養殖開発を振興する機関である。			
要請概要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) 州政府は過去から養殖の開発を考えており、パタゴニア海域に分布する在来種及び外来種2種(サーモン及びカキ)の養殖に係る実験を始めたが、多数の理由により中断又は失敗に終わった。主な弱みとしては、技術不足、商業的に関心ある種の生物的情報不足、養殖の研究に必要な施設の不足が上げられる。2005年度より海水養殖開発計画が実施されており、その中では海水養殖に関する研究開発センターの設立が含まれている。同センターの主な目的は冷海水魚の養殖技術の開発並びに同技術の移転であるが、州内に育成された人材がいなかったため、SVの要請が提出された。			
	2) 期待される具体的業務内容 ① 養殖が可能な魚類(カレイ目ダルマガレイ科)、貝類(フネガイ目タマキガイ科二枚貝)の選別に必要な助言 ② 冷海水の魚類の養殖技術の開発 ③ 人工餌料の製造及び管理			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 執務室、OA器具			
資格条件	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 海洋学者、生物学者(女性1名、男性1名 40歳~50歳代)	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ 英語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) ☑ スペイン語 (レベル: B)	
	条件(資格、免許、性別)及びその理由 性別理由: 学歴理由: 経歴理由: ・ 海水養殖の実務経験 理由: 新たな研究開発のため計画立案の経験者 理由:			
活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車				
概地域	気候(寒冷) 気温(0~25℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)		



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

長期(○JV ○日青 ●SV ○日SV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 20 年 1 月 30 日

要請番号(SL 324 - 08 - D - 04)

調査者名: 松本博富

国名	職種 / 指導科目	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
パラグアイ	職種 養殖 (コード 1803)	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	JOCV/SV	日系/短期等	
	指導科目 淡水魚養殖			1	21 / 1	年 月 から
	職種(英) Fish Culture			2	21 / 2	
指導科目(英) Fish Culture	3	/				

プログラム番号・名: パラグアイ その他プログラム(産業振興)
 プロジェクト名:

1) 受入省庁名(日本語) アスンシオン大学
 (受入機関名)(英語) Asunsion University

2) 配属先名 (日本語) 獣医学部水産学科
 (英語) The department of veterinary

3) 任地 セントラル県サン・ロレンソ市
 首都(アスンシオン市)から 東 方向 15 Km
 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
 獣医学部水産学科は、パラグアイ国における水産業の発展のため、水産養殖技術の開発、普及、指導を行ってきている。獣医学部が創設され50年が経過しているものの、水産学科は設立後、わずか10年しか経っておらず、専門教官の能力向上が急務となっている。2005年からJICAとKOICAから同時期にボランティアが派遣され、共同で活動を行って来ているが現在は技術援助はない。獣医学部年間予算は、約2,500千ドル。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
 水産学科は、近年急速に発展している淡水魚養殖に対して学術的見地から助言・指導を求められる立場である。2005年4月から1年間に亘り、初代SVが派遣され、同学科の病理学研究室において、淡水魚の病気予防を中心に種苗生産や養殖技術に関する指導を行っており、病理学には大きな成果を残すことが出来た。他方、益々増大する養殖業界からのニーズに応じて、同学科水産生産課は、種苗生産から飼料開発、養殖管理について指導を行っているが、より専門的な技術指導が必要として、新たなSV派遣が要請された。

2) 期待される具体的業務内容
 1. カウンターパートに対して、水産教育体制確立を目的として下記項目についてシラバス、講義・実験・実習展開法に重点をおいた指導を行う。
 (1) 種苗生産。
 (2) 魚病及び防疫。
 (3) 飼料開発。
 (4) 養殖業開発戦略策定。
 2. 巡回技術指導・技術相談会を通じた、生産者への助言指導を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
 実験室(事務機、椅子、書架他)、飼料ミキサー、配合機、水質分析機器、双眼顕微鏡、遠心分離機、電子秤他

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル
 水産学科主任教授: 男性、米国博士課程修了、50歳前半
 カウンターパート(種苗担当): 男性、水産学科卒、20歳後半
 カウンターパート(飼料担当): 男性、水産学科卒、30歳前半

5) 業務使用言語
 ● スペイン語
 ()
 ○ ()

6) 選考指定言語
 英語 (レベル: C)
 (レベル:)

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
 学歴理由: 教育機関での活動であり専門知識が必要となる。
 経験理由:
 理由: 実践的技術が必要となる。
 理由:

活動用交通手段の必要性
 有 無 車輦 単車 自転車

研修等 形態 現職教員特別参加制度

概地 気候(亜熱帯) 気温(0~40℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 況域 電話(インターネット可 通話可 不良 なし) 水道(安定 不安定 なし)



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄
 受験番号
 長期(○JV ○日青 ●SV ○ESV)
 短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

記入日:平成 20 年 6 月 27 日

要請番号(SL 333 - 08 - D - 08)

調査者名: 長谷川弘美

国名	職種 / 指導科目 (コード 1803)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
ウルグアイ	職種 養殖	● 新規 ○ 交替 1 代目	● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月	1	21 / 1	年 月 から
	指導科目 養殖産業開発			2	21 / 2	
	職種(英) Fish Culture 指導科目(英) Fish Culture			3	/	

プログラム番号・名 3330000000004
 地域経済活性化プログラム

プロジェクト名 地域産業振興プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) マルドナド県庁 (受入機関名)(英語) MARDONADO PREFECTURAL OFFICE			
	2) 配属先名 (日本語) マルドナド県庁 (英語) MARDONADO PREFECTURAL OFFICE			
	3) 任地 マルドナド県 首都(モンテビデオ)から 東 方向 100 Km 主要都市(ピリアポリス)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間)			
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) マルドナド県庁投資促進課は県内の様々な分野の優良案件を選択し、機材供与を行っている。地域開発課は現在150のプロジェクトに対しマイクロクレジット事業を展開している。また農牧業を中心とした技術者15名が生産者に対して技術的支援をしている。県はウルグアイでも有数の観光地であり、観光シーズン(11月~3月)には国内、近隣諸国、ヨーロッパなどから観光客が訪れる。県庁全体の予算は約US\$1億1千万。			
要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) レッドベス社(民間会社/現在従業員は2名)はマルドナド県庁と協力しながら、地域の養殖分野の開発促進に取り組もうとしている。しかしながら同国内で養殖技術を向上させるための専門教育機関はなく、唯一の研究機関である国立水産資源研究所についても2つの研究養殖場を持っているものの、生産者までその技術が普及しているとは言えない。小規模生産者がリオネグロ、サルト、マルドナド県で養殖を行っている。レッドベス社は今後ヒラダイ、ヘダイ、うなぎ、なまず、トウゴロイワシの養殖の可能性を研究していく計画であるが、まだまだ未開発の分野であるため、この要請があがった。会社の建物および研究施設は現在建設予定である。			
	2) 期待される具体的業務内容 1、レッドベス社の経営者や研究者とともに、ウルグアイの養殖についての現状調査・研究を行う。 2、ウルグアイにおける養殖分野の可能性、将来性について提案する。 3、地域の小規模生産者に対し、それぞれの地域の環境や生産者の要望に応じた支援を行う。 4、主に淡水魚の養殖、海草の養殖について技術を提供する。			
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 特になし			
	4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル ・マルドナド県庁投資促進課課長 男性 ・レッドベス社社長 男性 30歳代 ・生物学研究者 2名(採用予定) ・獣医(魚類) 1名(採用予定)	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ (レベル:)	
資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由			
	性別理由:			
	学歴理由:			
	経験理由: 経験に基づく技術力が必要であるから 理由: 理由:			
・経験 実務経験 10年以上 ・淡水魚・海草の養殖の経験				
活動用交通手段の必要性				
○有 ●無	○車輦 ○単車 ○自転車	研修等	形態	現職教員特別参加制度
概地況域		気候(温暖) 気温(3~34℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)	電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし)	



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄 受験番号

事務局長記入欄 受験番号

記入日:平成 19 年 12 月 28 日

要請番号 (SL 106 - 08 - D - 03)

調査者名: 藤木明代 V 調整員

国名	職種 / 指導科目 (コード 1604)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
フィジー	職種 水産物加工	○ 新規 ● 交替 3 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1	年 月 から
	指導科目 水産物加工			2	21 / 2	
	職種(英) Aquatic Products Processing 指導科目(英) Aquatic Products Processing			3	/	

プログラム番号・名 1060000000003 プロジェクト名
水産資源利活用プログラム

1) 受入省庁名 (日本語) 教育、文化、青年、スポーツ省
(受入機関名) (英語) Min.of Education, National heritage, Culture and Arts, Youth and Sports

2) 配属先名 (日本語) 南太平洋大学 島嶼海洋学部 海洋学科
(英語) School of Marine Studies Faculty Of Islands and Ocean, USP

3) 任地 スバ
首都(スバ)から 南東 方向 7 Km
主要都市(スバ中心地)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
南太平洋域内の12か国により1969年に設立された総合大学。海洋学科では、水産加工、養殖、資源管理、海洋生物など水産、海洋全般に関わる教育、研究を実施。無償資金協力「南太平洋大学海洋研究施設整備計画」により、海洋研究センター、ワークショップの建設、海洋調査機器、水産加工機材、養殖関連設備の設置が行われた。島嶼海洋学部には、沿岸資源管理JICA専門家、水産加工SV、養殖SVの派遣実績がある。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
域内の研究・教育の中心施設として実施体制の充実を図っているが、指導者が不足しており、設備も十分活用されていない。また、同国では水産資源の「ポストハーベスト」に関心が向けられているが、水産物の鮮度保持や品質管理にはまだまだ課題がある。海洋学科ポストハーベスト研究室では、これまで水産物加工SVが2代にわたり活動しており、初代SVは乾燥加工品(鯨節など)を、2代目SVはねり製品(蒲鉾など)作りを指導している。これらの技術を、学内だけではなく地方や伝統的村落(フィジアンビレッジ)の住民に広め、水産資源の有効利用方法について啓発していくことが求められている。

2) 期待される具体的業務内容

- ・水産物加工技術の確立と新たな加工品の開発
- ・水産物加工品の鮮度管理に関する研究と実習指導
- ・ヒスタミン中毒など食中毒防止のための安全性確立に関する研究指導と啓発活動
- ・村落に適応可能な技術開発とその普及

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
燻製品製造装置、乾燥機、ヒスタミン計、鮮度計、パソコン、冷蔵庫、フードプロセッサー

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 学科長1名(男性、40歳代、博士) 実習助手1名(男性、40歳代後半) 講師(現在募集中)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) □ (レベル:)
---	-----------------------------------	---

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
学歴理由:
・経験 実務経験 10年以上 経験理由: 実験、実習及び研究の指導を行うため
・大卒(水産学系) 理由: 配属先が示す条件
理由:

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

概地 気候(熱帯海洋性) 気温(15-35 °C位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
況域 電話(☑インターネット可 □通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

要請番号(SL 215 - 08 - D - 15)

調査者名:麻野 英二 V調整員

国名	職種/指導科目 (コード 1604)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期		
				JOCV/SV	日系/短期等	
コスタ リ カ	職種 水産物加工	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1	年 月 から
	指導科目 水産物加工			2	21 / 2	
	職種(英) Aquatic Products Processing 指導科目(英) Aquatic Products Processing			3	/	

プログラム番号・名 2150000000007 プロジェクト名
 国内産業競争力強化プログラム

配 属 先 概 要	1) 受入省庁名(日本語) 国立職業訓練センター (受入機関名)(英語) National Professional Education Center(INA)
	2) 配属先名 (日本語) アラフェラ校食品産業部門 (英語) Alajuela Food Industry Nucleus
	3) 任地 アラフェラ県 アラフェラ市 首都(サンホセ市)から 西 方向 20 Km 主要都市(サンホセ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間)
	4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア) 同センターは、国内産業の発展を支える優秀な労働人材を育成することを目的に1965年に設立され、主要都市に多数の施設を有する。将来の労働人材に対する多種多様な分野への職業訓練の機会を提供している。食品産業部門には7つの科があり水産物加工科もその1つである。2007年度の水産物加工プロジェクトへの予算はUS\$9,000である。同配属先では青年海外協力隊員「日本料理」が活動していた。(～2006.12)

要 請 概 要	1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む) コスタリカは太平洋・カリブ海に面しており豊かな水産資源を有しており最近では日本食ブームではあるものの、いまだに肉食が中心であり、海産物の取扱い・料理法についての知識・技術が乏しく、水産物加工技術が未発達な状況である。魚類においては白身の魚を好んで食する傾向がある。 同配属先では、水産加工技術の向上を通じた資源の有効利用・中小企業育成を目指し、水産物加工関係者(中小企業など)に対して水産物加工に関わるセミナーの開催を計画している。しかしながら水産物加工に関する知識・技術を持った人材が乏しいことからJICAボランティアの要請に至った。	
	2) 期待される具体的業務内容 1、コスタリカの水産資源及び水産物加工産業の現状分析(特に太平洋岸プンタレナス近郊を重点とする) 2、当国に適した水産物加工品の選定及び加工に関する技術指導(現在魚肉ソーセージなどを生産)。 3、水産物加工関係者(手工業的な加工技術者が中心)対象の講習会の開催 ・配属先であるアラフェラ校は海岸には面していないが、太平洋岸のプンタレナス校(アラフェラから西へ約100km)に水産物加工部門があり、プンタレナス等にも定期的に訪問し業務を行う。食品産業部門の本部はアラフェラ校にあり実習及び研究施設などは主にこちらのものを利用する。(配属先HP http://www.ina.ac.cr/)。	
	3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等 机、コンピューター、電話、食品加工実習室(5室)、科学分析研究室	

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル アラフェラ校:技術者1名(男性:日本での研修経験有り) プンタレナス校:技術者2名 食品産業部門には41名が在籍	5) 業務使用言語 ● スペイン語 () ○ 英語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: C) □ スペイン語 (レベル: C)
--	--	--

資 格 条 件	条件(資格、免許、性別)及びその理由		
			性別理由:
	・学歴 大卒 業務関連分野	学歴理由: 同僚が大卒以上であるため。	
	・経験 実務経験 10年以上	経験理由: 実務経験に基づいた専門知識が必要なため。	
		理由:	
		理由:	

活動用交通手段の必要性		研修等	形態	現職教員特別参加制度
○有 ●無	○車輜 ○単車 ○自転車			

概地 況域	気候(亜熱帯) 気温(18~28℃位)	電気(☑安定 □不安定 □なし)
	電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし)	水道(☑安定 □不安定 □なし)



平成 20 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄 受験番号

長期(○JV ○日青 ●SV ○ESV)
短期(○JV_A ○JV_B ○SV_A ○SV_B)

事務局記入欄

記入日:平成 20 年 1 月 30 日

要請番号(SL 303 - 08 - D - 23)

調査者名: 山本 パトリシア

国名	職種 / 指導科目 (コード 1604)	区分 (長期のみ)	派遣希望 期間	派遣希望時期	
				JOCV/SV	日系/短期等
アルゼン チン	職種 水産物加工	● 新規 ○ 交替 代目	● 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月	1	21 / 1
	指導科目 ワカメの商品開発			2	21 / 2
	職種(英) Aquatic Products Processing 指導科目(英) Aquatic Products Processing			3	/

プログラム番号・名 3030000000008 プロジェクト名 自然環境保全
自然資源保護プログラム

1) 受入省庁名(日本語) チュブツ州
(受入機関名)(英語) province of Chubut

2) 配属先名 (日本語) 技術革新・新規プロジェクト局
(英語) Department of Technical improvement and project planning

3) 任地 チュブツ州ラウソン市(州都)
首都(ブエノスアイレス)から 南 方向 1400 Km
主要都市(ブエノスアイレス)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 2 時間)

4) 配属先の事業内容及び予算・外国の援助状況(含むJICA専門家、ボランティア)
技術革新・新規プロジェクト局はチュブツ州水産庁に属しており、庁内において横断的にプロジェクト形成、実施及び評価及び技術開発を実施する機関である。特に民間投資を促進することが目的である。また、運営管理計画により水産管理、多様化を目指すプロジェクト評価、付加価値のある商品の開発促進などが主の活動である。水産庁の職員数は89名(正職員)及び50名(契約雇用)。2006年度の予算は360万ドル。

1) 要請理由・前任者の活動状況(プログラム補完短期ボランティアの場合は補完対象プログラム/ボランティアの概要を含む)
ワカメ(Undaria pinnatifida)は1992年にヌエボ湾に偶発した外来種であり、沿岸部約170kmにわたり点在している。秋・冬の時期には密度が拡大、平均149本/m²まで増殖し、最長145cmに達することが配属先の調査により判明している。州政府環境保護庁、市役所自然環境局および沿岸漁民などはこの増殖に危惧を表明している。州政府はパタゴニア地域に分布している寒天の原料であるオゴノリ(Gracilaria)及び美容に使用されている(スギノリ)の収穫に合わせてワカメの収穫を促進することを戦略的に計画している。この種が派生種についての収穫や商品化への可能性などの調査に協力が求められている。

2) 期待される具体的業務内容
① ヌエボ湾のワカメ(Undaria Pinnatifida)の調査及び特徴分析を行う。
② 商品化(人間の食品、家畜の飼料、薬剤等)の可能性の分析を行う。
③ 収穫方法についての技術指導を行う。

3) ボランティアが利用、または取り扱う機材の機種名・型式、設備等
実験室(各種実験器具)、海洋調査用機材(潜水用具類)、事務室(IT関係)

4) 配属先スタッフ・同僚(男女別人数、地位、年齢層)及び指導対象者の技術レベル 生物学者(男性2名、女性1名、20歳代~30歳代) 海洋学者(男性1名、40歳代) 沿岸漁船船長(男性、40歳代)	5) 業務使用言語 ● 英語 () ○ スペイン語 ()	6) 選考指定言語 ☑ 英語 (レベル: B) ☑ スペイン語 (レベル: C)
---	--	--

条件(資格、免許、性別)及びその理由

性別理由:
学歴理由:
経験理由:
理由:
理由:
理由:

・ 海洋生物学専攻者

活動用交通手段の必要性 研修等 形態 現職教員特別参加制度

○有 ●無 ○車輦 ○単車 ○自転車

概地 気候(温暖) 気温(0~30℃位) 電気(☑安定 □不安定 □なし)
況域 電話(☑インターネット可 ☑通話可 □不良 □なし) 水道(☑安定 □不安定 □なし)

